

第五十九回帝國議會
衆議院

地租法案外六件委員會會議錄(速記)第十一回

會議

昭和六年二月十六日(月曜日)午前十時
四十四分開議

出席委員左ノ如シ

委員長 本田 恒之君

理事 西脇 晉君

理事 永田善三郎君

理事 中村 繼男君

理事 高橋熊次郎君

理事 清水 銀藏君

村岡 吾一君 清水 長郷君

菊池 良一君 松井文太郎君

辻本豐三郎君 戶部 良祐君

本多眞喜雄君 松本 忠雄君

鏑木 忠正君 一柳仲次郎君

竹田 儀一君 前田 米藏君

武田德三郎君 大口 喜六君

東郷 實君 土井 權大君

岡田 忠彦君 八田 宗吉君

松谷與二郎君

出席國務大臣左ノ如シ

大藏大臣 井上準之助君

出席政府委員左ノ如シ

内務書記官 岡田 周造君

大藏政務次官 小川郷太郎君

大藏參與官 勝 正憲君

大藏省主稅局長 青木 得三君

大藏書記官 川越 丈雄君

本日ノ會議ニ上リタル議案左ノ如シ

地租法案(政府提出)

營業收益稅法中改正法律案(政府提出)

砂糖消費稅法中改正法律案(政府提出)

織物消費稅法中改正法律案(政府提出)

明治四十一年法律第三十七號中改正法律案(地方稅制限ニ關スル件)(政府提出)

大正十五年法律第二十四號中改正法律案(地方稅ニ關スル件)(政府提出)

都市計畫法中改正法律案(政府提出)

○本田委員長 是ヨリ委員會ヲ開キマ

ス

○高橋委員 前回ニ御願ヲシテ、御提出

出ヲ願フコトニナリテ居リマシタ

昭和

六年二月十六日

外六件委員會會議錄 第十一回

昭和六年二月十六日

昭

和

第五類第一號 地租法案(政府提出)外六件委員會會議錄 第十一回 昭和六年二月十六日

付託議案

地租法案(政府提出)

營業收益稅法中改正法律案(政府提出)

砂糖消費稅法中改正法律案(政府提出)

織物消費稅法中改正法律案(政府提出)

明治四十一年法律第三十七號中改正法律案(地方稅制限ニ關スル件)(政府提出)

大正十五年法律第二十四號中改正法律案(地方稅ニ關スル件)(政府提出)

都市計畫法中改正法律案(政府提出)

耕地整理法中改正法律案(政府提出)

デアリマスガ、ソレノ總計ハドレダケ

ト云フコトヲ大體御見込ニナラナケレ

バ、ドレダケ削減スルト云フヤウナコ

トハ御見込ガ付カナイ譯デハナイカト、

斯様ニ吾々ハ考ヘラレルノデス、先ヅ

吾々ノ意見ヲ纏メル上ニ於キマシテ、

大體ノ數字ダケヲ承知シナケレバナラ

ヌ、餘程減額シタカラ、ソレニ依ッテ官

吏モ 餘程生活ニ餘裕ガ出來ヌコトニ

ナッタト云フヤウナ意味ノ事ヲ仰セニ

ナルノデアリマスカラ、サウナル以上

ハ、其數字ハドレダケ位アルカト云フ

ヤウナコトヲ承ラナケレバナラス、然

ラバ最近御手許ニアル數字ハ、何年度

ノ數字ガ御手許ニアリマスカ、ソレヲ

大體承ッテ置キタイ

○井上國務大臣 只今申上ゲル如ク、

暫ク時ヲ假シテ戴ケレバ、或ル程度ノ

モノガ出來マセウト思ヒマスカラ、サ

ウ御承知ヲ願ヒマス

○高橋委員 五年度ニ於ケル年末賞

與、其他ノ之ニ類スルモノ、計算ハ時

ヲ要スルト云フヤウナコトデアリマ

ス、是ハ了承致シマシテ成ルベク早ク御提出ヲ願フコトニ致シマシテ、最近ノ年度ニ於ケル同種ノモノハ、既ニ御調ベニナツテ居ル筈デアリマスガ、ソレハ何年度ノモノヲ承レマスカ、ソレヲ御知ラセテ願ヒタイ

○井上國務大臣 只今申上ゲマスル如ク、今折角出來ルダケ其調査ヲシテ居リマスカラ、暫ク時ヲ假シテ戴ケレバ差上ゲマス、斯ウ申シテ居リマス

○高橋委員 前年度ノ御調べモマダ御手許ニナイト云フ意味ヲ今申サレタノデゴザイマセウガ、四年度或ハ三年度ノ御調査ハ既ニ出來テ居ル筈ト承知致シテ居ルノデアリマスガ、ソレモマダ出來テ居ナイト云フヤウナコトヲ今御述ベニナツタノデゴザイマスカ、其邊ヲハッキリ……

○井上國務大臣 先日御話申上ゲマシタヤウニ、賞與金ト云フモノハ、豫算ハナイノデス、ソレデアリマスカラ、之ニ依ツテ決算トカ或ハ何トカ云フモノハ出來ナイノデゴザイマス、ソレデアリマスカラ、考ヲ定メマス時ハ、大凡ノ見當ト云フコトハ、色々ナ調査ニ依ツテヤリマスガ、苟モ御尋ニ依ツテ差出サウト云フコトデアリマスカラ、出來ルダケノコトヲヤツテ居リマスカラ……

「凡ソノ見當ハ今言ヘマセヌカ」

ト呼フ者アリ」
○井上國務大臣 言ヘマセヌ
「ソレデハチットモ分リマセヌガ」
ト呼フ者アリ」

○高橋委員 今大凡ノ見當モ、前年度既ニ決算済ノモノニ關シテモ、大凡ノ見當モ伺ウコトガ出來ヌト云フコトハ、是ハ頗ルカシナ話ダト思ツテ居ルノデス、大凡ノ見當モ付カナイデ、多イカ少ナイカト云フコトハ、ドウシテ御定メニナルカト思フノデス、無論是ハ既ニ御手許ニ出來テ居ル筈ダト思フ、前年度ノ數字ハ是ダケ、前々年度ノ數字ハ是ダケダト、ソレデアルカラ今日ノ物價ノ趨勢ニ比較致シテ、生活費モ相當ニ低下シタカラ、ソレデアルカラ是ダケニ減ジテ差支ヘナイ、斯ウ云フヤウナ御見込ガ立ツダラウト思フノデ

○井上國務大臣 先日御話申上ゲマシタヤウニ、賞與金ト云フモノハ、豫算ハナイノデス、ソレデアリマスカラ、之ニ依ツテ決算トカ或ハ何トカ云フモノハ出來ナイノデゴザイマス、ソレデアリマスカラ、考ヲ定メマス時ハ、大凡ノ見當ト云フコトハ、色々ナ調査ニ依ツテヤリマスガ、苟モ御尋ニ依ツテ差出サウト云フコトデアリマスカラ、出來ルダケノコトヲヤツテ居リマスカラ……

ト呼フ者アリ」
○井上國務大臣 言ヘマセヌ
「ソレデハチットモ分リマセヌガ」
ト呼フ者アリ」

工合ニ吾々ハ考ヘテ居ルノデアリマス、ソレデアリマスルカラ、前年度ヤ前々年度ノ大體ノ數字ガ、大藏省ノ御手許ニマダ出來テ居ラヌト云フコトハ、私共ハ其儘、大藏大臣ノ御言葉トシテハ承服スルコトガ困難ノヤウニ考ヘラレマスガ、モウ一度御調べ下サイマシテ、此事ハ數字ノコトデアリマシテ、將來ノコトデナクシテ、既往ノコトデアリマスルカラ、他ノ政府委員トモ打合セ下サイマシテ、御答辯ヲ願ヒタイト思ヒマス

○本田委員長 高橋君、政府ノ方カラ其點ニ對スル答辯ハアリマセヌカラ……

○井上國務大臣 今ノハ私ニ御注意ダケノコトデハゴザイマセヌカ

○高橋委員 イヤ外ノ方ト御打合せ下サイマシテ、既往ノモノハ御分リニナラナイカドウカト云フコトヲ一ツ……

○井上國務大臣 只今モ繰返シテ申上ゲマス如ク、政府ノ當局トシテハ、何時デモ斯ウ云フコトニ付テハ、何年前カノモノヲ凡ソ見當ヲ付ケマシテ、ソレカラ色々ナ推算ヲ致シテ、凡ソ是レ位ナモノデアラウト云フ、斯ウ云コトノ自分ノ參考ニナルモノハ拵ヘサセマスガ、苟モ外部ニ出ス以上ハ、サウ云フモノハ、モウ一遍ソレニ依ツテ調べマシテ、サウシテ出スコトガ適當ト思ヒ

マスカラ、今出來ルダケヤツテ居リマスカラ、今直グ今日、明日ニハ出來マセヌガ、假スニ時ヲ以テシマシタナラバ、或ル程度ノモノガ出來マスカラト、斯ウ申上ゲテ居ルノデゴザイマスカラ、サウ御承知ヲ願ツテ置キマス(岡田委員「推算……」ト呼フ)ソレハ吾々ノ參考ニナルモノデ、苟モ政府ノ參考書トシテ皆サンニ差上ゲルノニハ、モウ一應ノ調査ヲ要スルカラト、斯ウ申シテ居ル次第デアリマス

○高橋委員 私ハ書面デ頂戴スル部分ハ正確ナ數字ガ欲シイノデアリマシガ、又此處デ今伺ツテ居ルノハ、左様ニ何十何圓マデモキツバリシタモノヲ伺ヒタイト云フノデヤナイ、大摺ミデ宜シウゴザイマス、何百何十萬圓位ノ程度デ、ソコニ十萬圓ヤ二十萬圓ノ行違ガアツタ所ガ、吾々ハサウ云フヤウナコトニ付テ蟬リヲ持ツ者デモ何デモナイノデスカラ、ソコハ私共ハ此審議ヲ進メル上ニ於テ必要ナ數字デアリマスカラ、成ベク早ク承知ヲ致シタイト云フノデス、只今申上ゲタ通り極クハッキリシタ數字デナクテモ、大體ノ御參考ニ御供シニナツタト云フヤウナ數字デモ、亦吾々ハ參考ニ供スルコトガ出來ルト思ヒマスルカラ、其大體ノ數字ダケ――御參考ニ供サレタ其數字デ宜シウゴザイマスカラ、今ノ所デハソレヲ承リ

ト呼フ者アリ」
○井上國務大臣 言ヘマセヌ
「ソレデハチットモ分リマセヌガ」
ト呼フ者アリ」

タイ

○井上國務大臣 同ジコトヲ申上ゲル
外ニ申上ゲヤウガゴザイマセス

○高橋委員 御參考ニ供セラレタ數字
モ、此場合御述べ下サルコトガ出來ナ
イト云フコトニナルト云フト、大變ヲ
カシイ話ダト思フノデス、大臣ガ御參
考ニ供セラレタ數字ト云フヤウナモノ
ハ、又大臣ノ御經理ニナル所ノ總テノ
案件ノ參考資料トシテハ大切ナモノダ
ラウト思フノデス、ソレヲ御提出下サ
ラナイト云フコトハ、少シ法律的ニ言
ヘバ文句モ付ケマセウガ、先ヅ第一吾
吾ニ對シテ少シ親切ガ足りナイヤウニ
モ考ヘラレルノデス、サウ云フヤウナ
コトハ虛心坦懐ニ、ドウデス一ツ御述
ベ下サツテ、サウシテ吾々ノ審議ヲ成ベ
ク早ク進メ得ルヤウニ御骨折下スツテ
ハ、是ハ希望デアリマスガ——御答辯
アリマセスカ

○井上國務大臣 大概政府ノ立場モ御
推察下サツタラウト思ヒマスガ、只今モ
申上ゲル如ク、色々ナ推算ヲシテ、凡
ソ是レ位ノ數字デアラウト云ツテ、自分
ノ參考ニシテ、凡ソ仕事ヲ致シマスガ、
委員諸君ノ御請求ニ依ッテ出シマス以
上ハ、モウ一遍モ二遍モ、各種ノ方法
ニ依ッテソレヲ調査シテ、成タケ正確ナ
モノヲ差上ゲタイカラ、暫ク御待チヲ
願ヒタイト、斯ウ申シテ居ルノデゴザ

イマス、御承知ノ如ク豫算ガアツテ支拂
ヲシマスモノナラバ、毎年ノ決算ニ出
マシテ、直チニ詳細ノ説明モ合計モ差
出スノデアリマスガ、賞與金ヤ手當ノ
如キハ、何モサウ云フモノハナイノデ
アリマス、各種ノ項目ニ互ッテ之ヲ調査
スルノデアリマスカラ、ソレニハドウ
ゾ御推察ヲ願ッテ置キタウゴザイマス

○高橋委員 ソレナラバ何時頃マデニ
大體其御調ガ付キマスカ、ソレヲ承ッ
テ……

○井上國務大臣 只今此處デ正確ナ時
日ハ申上ゲ兼ネマス、折角ヤツテ居リマ
スカラ、ドウゾサウ御承知ヲ願ヒマス

○高橋委員 サウスルト私ハ度々色々
ナ文書ノ上デハ以前ノ數字ハ出テ居ル
ノデアリマスガ、何レ大藏當局デ以テ
御調べ下スツタ數字ダラウト思ッテ居
ル、サウ云フ數字ガ見受ケラレルノデ
アリマス、ソレデアリマスカラ、是ハ
大體御調濟ノモノデナイカト吾々ハ考
ヘテ居ルノデス、サウ云フ數字ガ——
大體ノ數字ガナクテハ、到底其國政ノ
上ニ反映スルヤウナ御計畫ハ困難ヂヤ
ナカラウカト斯ウ考ヘルノデアリマ
ス、サウスルト吾々ハ年末賞與其他ノ
給與金ニ對シテドレ程減額ヲ五年末ニ
於テサレタカ、ソレカラ又五年度ノ會
計年度末マデニ於テモ同様ニ減額サレ
テ、相當二千萬圓近クモ是等其他ノモ

ノヲ含シテノデアリマセウカ、幾ラニ
ナリマスカ、斯ウ云フモノヲ減額サレ
テ、歳入ノ補填ニ充テルト云フヤウナ
御説明モ度々承ッタノデアリマスルガ、
是等ノ數字ト云フモノハ、今回ノ豫算
ノ上ニ於テモ非常ニ重大ナル數字ト吾
吾思ッテ居ルノデス、殊ニ度々問題ニ
ナツテ居リマスル所ノ官吏ノ減俸、之ニ
代ルベキモノデアリマスカラ、吾々ハ
相當ニ重大視シナケレバナラヌ數字
ト、斯様ニ考ヘテ居ルノデアリマス、
ソレデ吾々ハ一日モ速カニ其數字ヲ知
リタイト云フ希望ハ無理カラヌコトデ
アラウト思フノデス、ソレデ私共ハ詳
シイ數字ハ追テ承ルト致シマシテモ、
大體ノ數字ダケモ此處デ承知致シタ
イ、ソレデ大藏大臣ノ手許ニナケレバ
政府委員等モ能ク御承知ノコトデア
ウカラ、政府委員ト能ク御協議下サツ
テ、大體ノ數字ダケデモ、茲ニ御示シ
テ願ハレルカ、願ハレヌカト云フコト
デ私ハ念ヲ押シタノデアリマスガ、ヤ
ハリ大體ノ數字モ御示シニ預カルコト
ガ出來ナイ、熱心ニ調査中ダカラ調査
ガ結了スルマデ待テト、斯ウ云フヤウ
ナコトヲ今仰セニナツテ居ル、ソレニ對
シテ私ハ、從來是等ノ、昭和四年度頃
マデノ數字ト云フモノハ、ソレハノ
文獻ノ中ニ散見スルノデアル、恐ラク
ハ是等ノ數字ハ、御役所ニ於テ御調ニ

ナツタ數字ト思フガ、斯ウ云フモノハア
ルベキ筈デハナイカト、斯ウ云フコト
ヲ御尋シテ居ルノデアリマス、ソレニ
對シテハ如何デアリマスカ

○井上國務大臣 御熱心ナル御要求デ
アリマスガ、今ノ昭和四年度アタリノ
手當トカ、賞與金トカ云フヤウナ總合
計ガ、何處カ文獻ノ中ニ現ハレテ居ル
ト言ハレルガ、ソレハ何カ餘程見當ノ
違ッタモノデハナイカト思ッテ居リマ
ス、サウ云フモノガ大藏省デ徹底的ニ
調べテ、サウ云フモノヲ發表シタコト
モ何モゴザイマセヌノデアリマス、御
承知ノ如ク豫算ガナイノデスカラ、各
會計ニ互ッテスツカリヤラヌトイカヌノ
デアリマスカラ、只今マデ私ガ申上ゲ
ル如クデ、折角御熱心ナ御要求デアリ
マスガ、諄ク申上ゲルヤウナ工合ニ、
サウ容易ク中々出來マセヌノデアリマ
スカラ、ドウゾ其處ノ所ハ御推察ヲ願
ヒマス

○高橋委員 只今、世ノ中ノ文獻ニア
ルモノハ、ソレハ見當ノ違ッタ數字ダト
言ハレマスガ、其見當ノ違ッタト云フノ
ハ、大體穩カナラヌ御意見デアリマス、
見當ノ違ッタト云フノハドシナ意味ノ
御解釋ニ仰セニナツテ居リマスカ

○井上國務大臣 サウ云フモノガ出ル
筈ハナイト思ヒマス、何カ文獻ニ現レ
テ居ルト言ハレルガ、多分外部カラノ

推察カ何カデアリマシテ、決シテ信賴スベキ文獻デハナイヤウナ氣持ガ致シマス、何處カデ御覽ニナリマシタ文獻デモ擧ゲテ御示シテ願フタラ、私ノ方デ一ツソレヲ研究シテ見テモ宜シウゴザイマス

○高橋委員 私共ノ承知致シマシタル數字ハ、正確ナモノデナイト云フ御見込ノ以上ハ、アナタ方ノ方カラ御提出ニナルモノヲ待ツテ、サウシテ吾々ハ其點ニ付テ審議ヲ進メタ方ガ、議事ノ進行ノ上カラ言ッテモ結構ダラウト思ヒマスカラ、左様ナコトニ致シタイト思ッテ居リマス、先日大藏大臣ハ今官吏ノ減俸ヲスルト云フコトハ、自分デ其理由等ヲ此處デ言明スルト云フコトハ好マシクナイト云フヤウナコトデ以テ、終始サレテ、ソレト違ッタヤウナコトモ後デ多少仰セニナッタガ、大體ニ於テ好マシクナイト云フヤウナコトデ、ボンヤリシタ結論デ終始サレタヤウニ吾々ハ記憶致シマスルガ、是ハ重大ナコトデアリマス、ソレデ今日官吏ノ生活ヲ顧ミマシテモ、今日ノ狀況ニ於テハ減俸ノ餘地ナシト、斯様ニ御認ニナッテ今回減俸案ト云フモノヲ考慮ニ入レラレナカッタノデアアルカドウカ、此邊ヲハッキリ仰セニナッテ戴キタイト思ヒマス

ガアリマシタ時ニ、斯ウ私ハ御答申シテ置キマシタ、只今官吏ノ減俸ヲ致シマス考ハ持ッテ居リマセヌト、斯ウ云フコトヲ申シテ置キマシタノデアアリマラス、ソレデ今日モ同ジヤウニ考ヘテ居ル次第デアリマス

○高橋委員 ドウモハッキリシナイノデアリマスガ、一體此間承ツタ數字ニ依ルト云フト、六年度ニ於ケル官吏ノ俸給給料ト云フモノハ、二億六千萬圓バカリデアルト云フコトヲ承ツタノデアリマスルガ、此二億六千萬圓ト云フノハ、是ハ相當ハッキリシタ數字デアリマスカ

○井上國務大臣 サウデゴザイマス、總數ヲ十五億——斯ウ、御承知ノ如ク經濟化トカ色々ナコトヲヤリマシタ結果ガ、昭和六年度、或ハ五年度ノ豫算ノ總數ガ違ッテ居リマスガ、十五億ト歳出ノ總數ヲ押ヘテ見マス、其中ニ是ダケノ義務費ガアリマス、其外ニ俸給給料ノ科目ガ二億六千萬圓ト記憶シテ居リマスガ、ソレダケアルト云フコトヲ申上ゲテ置キマシタ

○高橋委員 二億六千萬デモ宜シウゴザイマスガ、吾々昭和四年度ノ實行豫算等ヲ覗イテ見マシテモ、モット多イ數字ガ現レテ、遙カニ三億ヲ超エテ居ルノデアリマスガ、諸給與其他ヲ合セルト、人件費ハ四億ヲ超エテ居ルト思

ヒマス、是ハ多少旅費等ガ入ッテ居ッテ、ソレガ三四千萬圓アルト思ヒマス、ソレヲ除キマシテモ、三億七八千萬圓ニナルノデアリマスガ、人件費ハ六年度ニ於テ非常ナ減ニナッテ居リマス、ソレデ私ハ確カナ數字デアアルカト云フコトヲ承ツテ居ルノデアリマス、如何デアリマスカ

○井上國務大臣 只今モウ一度二億六千萬圓ノ區別ヲハッキリ申セト云フ仰セデアリマスガ、一寸御待チテ願ヒマラス、今政府委員ガ書類ヲ持ッテ參リマスコトニ付キマシテ

○川越政府委員 先日大藏大臣カラ申上ゲマシタ人件費ノコトニ付キマシテ御質問デアッタサウデアリマスガ、アノ數字ハ一般會計ダケノ數字デアリマシテ、一般會計ニ於ケル俸給給料ダケヲ集計シタ分デアリマス

○高橋委員 一般會計ダケヲ私言ッテルノデハナイ、特別會計ナドヲ合セルト云フト倍額ニモ達シヨウト思フ、幾分特別會計ノ方ハ少クナッテ居ッタカト思ヒマスガ、ソレハ幾分かデアッテ、殆ド數字ニハソレ程開キガナイト思ヒマ

○川越政府委員 昭和五年度ト六年度トノ比較ト今仰セニナリマシタガ

○高橋委員 私人言ッテ居ルノハ四年度ト六年度トノ間ニサウ云フ大キナ開キガアラウトハ吾々ハ考ヘテ居リマセヌ、併シ六年度ノ豫算ヲ大體拵ヘマス時ニ、人件費ヲ拾ヒ上ゲマシタ所ガ、二億六千萬圓トカ二億七千萬圓トカ云フ數字ガ出タノデアリマス、唯斯ウ云フコトガアルカモ知レマセヌ、俸給ハチャント定ッテ居ルカラ是ハ間違アリマセヌガ、俸給以外ノモノニナリマス、統計ノ取り方ニ依リマシテ人件費ニ於テ色々違ッテ來ルノデアリマス、ト申シマスノハ例ヘバ政府ノ方デ雇ッテ居リマス雇トカ、囑託トカ、職工トカ云フモノハ、是ハハッキリ分リマスケレドモ、豫算ノ立方ガ、物件費ノ中ニ能ク人ノ經費ガ入ッテ居ル場合ガアリ得ル、殊ニ職工ナンカニナリマス、物件費ト人件費ノ區別ガハッキリシナイ、ソレデ或ル

○井上國務大臣 先日モ同様ナ御質問

○高橋委員 二億六千萬デモ宜シウゴザイマスガ、吾々昭和四年度ノ實行豫算等ヲ覗イテ見マシテモ、モット多イ數字ガ現レテ、遙カニ三億ヲ超エテ居ルノデアリマスガ、諸給與其他ヲ合セルト、人件費ハ四億ヲ超エテ居ルト思

○高橋委員 一般會計ダケヲ私言ッテルノデハナイ、特別會計ナドヲ合セルト云フト倍額ニモ達シヨウト思フ、幾分特別會計ノ方ハ少クナッテ居ッタカト思ヒマスガ、ソレハ幾分かデアッテ、殆ド數字ニハソレ程開キガナイト思ヒマ

○川越政府委員 昭和五年度ト六年度トノ比較ト今仰セニナリマシタガ

場合ニサウ云フ統計ガ出タノカモ知レマセヌ、併シ六年度ニ付テ、此間大蔵大臣カラ御説明ニナリマシタ數字ハ、是ハ間違ナイ積リデ居リマス

○高橋委員 特別會計ノ方ノ人件費ハドノ位ニナッテ居リマスカ

○川越政府委員 特別會計ノ人件費ハ、六年度ノ豫算ニ付テ調べタモノハ、今手許ニゴザイマセヌ、但シ五年度ノ豫算ノ數字デ宜シイト云フコトデアリマス、書類ヲ取寄セマシテ後刻デモ宜シケレバ御説明申上ゲテモ宜シウゴザイマス

○高橋委員 ソレデハ私ハ改メテ昭和五年度ト六年度ノ人件費ノ内譯ヲ、一般特別兩會計ニ互ッテ伺ヒタイノデアリマス、是ハ後刻デモ宜シウゴザイマスカラ、ドウゾ昭和五年度ト六年度ノ人件費、此人件費ト云フモノハ、今度ノ豫算ニハ今マデトハ違ッテ非常ニ重キヲ爲シテ居ルノデアリマス、人件費ハ現ニ此内閣ノ成立當初ニ於テ、既ニ天下ヲ騒ガシタ大問題デアリマスカラ、之ニ付テハ當然此議會ニ於テ論議ノ中心ノ一部ヲ爲スト云フコトハ、當然政府ハ覺悟サレテ居ナケレバナラス、ソレデアリマスルカラ豫メ是等ノモノハ問題ニナルダラウト言ッテ、親切心ガアルナラバ、既ニ是等ノ集計ヲシテ御出シ下サランケレバナラスノデアリマ

ス、此點ニ付テドウカ速ニ御提出ニナリコトヲ希望致シマス

○川越政府委員 只今御註文ノ資料ノ中デ、手許ニ出來テナイモノガ、チヨトト間ニ合ヒ兼ネルモノガアルヤウニ思ヒマス、ト申シマスノハ、六年度ノ特別會計ノ人件費ヲ是カラ拾フト致シテモ、非常ナ勞力ヲ要シマスノデ、中々至急ニ間ニ合ハナイヤウニ思フノデアリマス、デアリマスカラ私共ノ手許デ分リマス限度ノモノハ差上グル積リデ居リマス

○高橋委員 御用意ガナカッタト云フコトニ付テハ、私ハ非常ナ不滿ノ意ヲ此場合ニ表明スルノデアリマスカラ、ソレト同時ニ御分リニナラナケレバ、其道ニ達識ノ方々デアリマスカラ、一其目睨メバ大體ノ數字ハ出テ參ルダラウト思フ、ソレデアリマスカラ、正確ナ數字ハ正確ナ數字デ別ニ附記ナドヲサレルコトハナイガ、是ハ集計ノ煩ヲ避ケテ、大體ニ睨ンダ數字ハ是ダケデア

ルト言ッテヤウナモノヲ御出シニナレバ、吾々ハソレデモ満足致シマス、ソレデアリマスカラ特別會計デハ大體睨ンダ數字ヲ御提出願ヒタイト思フ、大體ノ御睨ミハ利クダラウト思フ、睨ミガ利カヌデハ、此豫算ヲ御提出ニナルト云フコトハ不用意ダッタト云フ責ハ免レマイト、斯ウ云フ工合ニ考ヘテ居

リマス、併シ人件費ハ、四年度ニ比較シ、五年度ニ比較シ、割合ニシテドレダケ位減ジタカト云フコトノ御答辯ハ此場合願ハレルダラウト思ヒマスガ、ドウ云フモノデス、大體デ宜シウゴザイマス

○川越政府委員 大體申シマス、人件費ニ付キマシテハ、昭和五年度ノ實行豫算ヲ基礎トシテ、大體五分位減ス積リデヤッタノデアリマスカラ、出來上リマシタ結果ハ必ズシモ五分ト云フコトニハナッテ居ラヌカモ知レマセヌ、是ハ仕事ノ性質ニ依リマシテ、五分引ケル所モアルシ、或ハ又ドウシテモ人件費ガ窮窟デ、五分減セナイト云フ所モアリマシテ、已ムヲ得ズ三分位ニ止

デハナイカト思ヒマス、併シ大體ニ於テ吾々ハ豫算ノ整理ヲ致シマス時ノ標準ハ、五分減ト云フコトヲ標準ニシテヤッタノデアリマス

○高橋委員 大體五分ト云フノハ、昭和五年度ノ實行豫算ニ對シテ御見込ミニナッタト承知シテ宜シイノデスカ

○川越政府委員 昭和五年度ノ實行豫算ノ數字ヲ基礎ニシマシテ、ソレト昭和六年度ト比較シタノデス、昭和五年度ノ實行豫算ノ數字カラ大體五分見當ノモノヲ減シタモノガ昭和六年度ノ豫

算デアリマス

○高橋委員 サウスルト昭和四年度ノ當初豫算トハドウ云フ開キニナリマスカ

○川越政府委員 昭和四年度ト昭和六年度ノ豫算トヲ、直グニ比較スルコトハ困難カト思ヒマス

○高橋委員 一寸困難カト云フコトハ、一寸吾々モ了解ニ困難スルノデアリマスルガ(笑聲)ドウ云フコトニ承知シテ宜シイノデスカ

○川越政府委員 昭和四年度ノ成立豫算ヲ基礎ニシテ、ソレカラ何分減スト云フヤウナ計畫デ昭和六年度ノ豫算ヲ作ッタノデアリマセヌ、昭和四年度ノ豫算ト云フモノガアリマシテ、ソレカラ昭和五年度ノ豫算ヲ作りマシテ、其ハソレカラ幾ラ減シテ昭和六年度ノ豫算ト云フモノヲ作ッテ居リマス、隨テ今何割減シタトカ、何分減シタトカ云フコトハ申上ゲラレマセヌ、昭和四年度ニ比較シテ六年度ノ豫算ヲ幾ラ減シタノカト云フ御質問ニ對シテハ、今一寸御答ガ致シ兼ネルノデアリマス

○高橋委員 只今ノ御説明デ承知致シマシタガ、昭和四年度成立豫算ノ當時ト、昭和五年度實行豫算トノ間ノ人件費ハドウ云フ減ニナッテ居リマスカ

○川越政府委員 ソレハ大體分ル積リ

デアリマス、併シ今手許ニ材料ヲ持ッテ居リマセヌカラ、後デ御知セ致シマス

ハ、是ハ年々繰返サルベキモノデアリマシテ、既定計畫デアリマスカラ、是ハモウ直チニ御分リニナルダラウト思

モ知レマセヌ、其點ハ豫メ御諒察ヲ願フテ置キマス

マシタ貸賃價格ニ四・五ヲ掛ケタ數字ヲ基本トシテ、サウシテ其中カラ千八十萬圓ト云フモノヲ引ク計畫デアル、ソレガ丁度三・八ヲ掛ケルト同一デア

○高橋委員 ソレナラバソレヲ伺フコトニシ、併セテ此處ニ改メテ御間違ヒ

テ居ルノデナイ、義務費ダケノ範圍ヲ承

○高橋委員 再々申上ゲル通りニ是ハ私トシテハ重大ナル調査事項ノ一ツニ

追々伺ヒマスガ、此大藏大臣ノ御考ハ私ハ根本ニ於テ間違ッテ居ナイカト思

ガ、昭和五年度ト昭和六年度ノ義務費

員ノ御説ハ少シ當ッテ居ナイト思ヒマ

時ノ勢ヒヲ以テ、一ツ夜ヲ徹シテモオ

フ、何トナレバ減稅ヲ致ス以上ハ、此

願ヒタイト思ヒマス、大藏大臣カラ此

スガ、ソレデモ私ノ申上ゲタコトニハ

ヤリヲ願ヒタイト思ヒマス、大藏省デ

地租法ガ出ナイ場合ニ、吾々ガ當然地

前ニ六億五千萬圓、是ガ義務費ダト云

別會計ニ於ケル義務費ノ内譯位ハドウ

ハソレトノ道ノ方々ガアッテ、随分腕

租トシテ負擔ヲシナケレバナラナイ昭

フ御話ガアリマシタガ、ソレノ内譯ヲ

同ッテ居ルノデアリマス、其内譯ハ既ニ

ハ何デモナイコト、吾々ハ考ヘテ居リ

ナケレバ減稅ニナラスノデアリマス、

御分リデアリマセウカラ、又少シ手ヲ

○川越政府委員 再々申上ゲマスヤウ

マス、ドウカ是ハ重大ナル案件デアリ

改メテ調査サレタ貸賃價格ニ四・五ヲ

加ヘレバ是ダケハ容易ク出來得ルコト

ニ、特別會計ノ義務費ノ調査マデハ、一

ト思ヒマス、何カ武田君カラ議事進行

ノ御見込ミダケデアッテ、法律ニ依ッテ

ト思ヒマスカラ、昭和五年度ト六年度

別會計ニ付キマシテハ、例ヘバ朝鮮ト

ニ付テ發言ヲ求メラレテ居ルヤウデス

決ッタモノデハナイノデアリマス、ソレ

ノ内譯ヲ、一般特別兩會計ニ分ッテ頂

カ、臺灣トカ別々ニヤッテ居リマスノ

カラ、一寸武田君ニ譲リマス

ニ四・五ヲ掛ケタモノヲ、當然ノ負擔ス

戴致シタイト思ヒマス、ソレカラ昭和

カ、一寸急ニ出來ナイノデゴザイマス、

ノ御説明ヲ承ッタノデアリマシタガ、私

ベキ地租額ナリト獨斷ヲシテ、其中カ

五年ノ施行豫算ノ人件費ト、ソレカラ

ハ、二寸急ニ出來ナイノデゴザイマス、

ノ御説明ヲ承ッタノデアリマシタガ、私

ラ減稅額ヲ御引ニナルト云フコトハ、

ラ昭和五年度ノ實行豫算ノ人件費トノ

ソレデアリマスカラ一般會計ニ付キマ

ハ之ニ付テ尙ホ疑問ヲ有ッテ居ルノデ

カラ申シテ、貸賃價格ニ四・五ヲ掛ケタ

増減ノ歩合ハドシナ工合ニナッテ居ル

シテハ調査ノ出來タモノガアルト思ヒ

アリマス、其事ヲ更ニ承ッテ置カナイ

數字ト、ソレカラ當然吾々ノ此地租法

カ、是モ一ツ承ッテ置キタイト思ヒマ

マスカラ、出來タモノハ差上ゲルコト

ト私共ノ質問ヲ致ス上ニ於テ非常ニ困

案ノ出ナイ場合ニ負擔スベキ數字ト

ス、是ハウルサイヤウデアリマスガ、

ニ致シマス、特別會計ニ付キマシテモ、

ル次第デアリマスノミナラズ此度ノ地

ビッター合ッテ居レバ、理窟ダケノ話デ、

重要ナ問題デアリマスカラ、ドウカ御

租ノ減稅ニ付テモ根本問題ニ觸レルカ

ト思ヒマスカラ、モウ一遍御説明ヲ伺

吾々ノ負擔ニ於テ何等ノ變リハアリマ

親切ニ御願ヒシタイト思ヒマス

ガ、五年度アタリノモノガ出來テ居リ

テ置キタイト思フノデアリマス、先日

地租額ト、ソレカラ此貸賃價格ニ四・五

○川越政府委員 一般會計ニ付キマシ

テハ、大體材料ガアルト思ヒマスガ、

テ置キタイト思フノデアリマス、先日

ラ掛ケタ額トガ違フト致シマスレバ、

特別會計ニ付キマシテハ、事ニ依ッテ

アリマス、兎ニ角出來ルダケノモノハ

私ハ大藏大臣ニ、此減稅ノ仕方ドウ

云フ工合ニ爲サルノデアアルコト云フコ

材料ガ無イカモ知レマセヌ、材料ノア

差上ゲマスガ、御要求通りノモノガ全

トヲ承ッタ時ニ、昭和四年度ニ決定サレ

ニ四・五ヲ掛ケタ額ガ、吾々ノ負擔スル

ル程度ノモノハ差上ゲマス

部耳ヲ揃ヘテ差上ゲルコトハ出來ヌカ

トヲ承ッタ時ニ、昭和四年度ニ決定サレ

ニ四・五ヲ掛ケタ額ガ、吾々ノ負擔スル

○高橋委員 義務費ナド、云フモノ

ハ、是ハ年々繰返サルベキモノデアリ

トシテ、既定計畫デアリマスカラ、是

ハ、是ハ年々繰返サルベキモノデアリ

ハ、是ハ年々繰返サルベキモノデアリ

マシテ、既定計畫デアリマスカラ、是

ハ、是ハ年々繰返サルベキモノデアリ

マシテ、既定計畫デアリマスカラ、是

ハ、是ハ年々繰返サルベキモノデアリ

マシテ、既定計畫デアリマスカラ、是

ハ、是ハ年々繰返サルベキモノデアリ

マシテ、既定計畫デアリマスカラ、是

ハ、是ハ年々繰返サルベキモノデアリ

マシテ、既定計畫デアリマスカラ、是

ハ、是ハ年々繰返サルベキモノデアリ

マシテ、既定計畫デアリマスカラ、是

地租額ヨリモ餘計ダト云フ場合ハ、政
府ハ半年度ノモノヨリ千八十萬圓減額
爲サルト云フケレドモ、事實ハ、モット少
ナクナルノデアリマス、若シ貸賃價格
ノ數字ガ、吾々ノ實際負擔スベキ地租
額ヨリモ少ナイト云フコトニナレバ、
實際ノ減稅額ハ千八十萬圓ヨリ餘計ニ
ナルノデアリマス、故ニ是ハ根本問題
デアルカラ、先日カラ其點ニ付テ色々
承ツタノデアリマスガ、ドウモ是ガ合ハ
ナイノデアリマス、私ノ計算致ス所ニ
依ルト、百七十七萬圓程違フノデアリ
マス、今年政府ガ豫定サレマシタ千八
十萬圓ヲ減稅スルト仰シヤルモノハ、
其基本數字ニ於テ百七十七萬圓私ノ計
算通り違フモノト致シマスレバ、實際
ノ減稅額ハ漸ク九百萬圓ノ上少シ出ル
程度ノモノデアリマス、サウシマス、
事實吾々カラ九百萬圓シカ租稅ヲ減ジ
テ吳レナイデ置イテ、サウシテ千八十
萬圓減稅スルナド、仰シヤルコトハ、
是ハ非常ナ相違ガ來ルノデアリマス、
ノミナラズ、管ニ負擔ノ輕減ニ於テ違フ
ノミナラズ、吾々ノ方ニ御提出ニナリ
マシタ十年計畫ト云フモノハ、總テ狂
テ來ルノデアリマス、十年計畫ト云フ
モノハ、昭和六年度ニ於テ收入爲サル
所ノモノヲ基本トシテ御定メニナッテ
居ルノデアリマスカラ、其基本ニ於テ、
假令百七十七萬圓ト雖モ違ッテ來ルト

云フコトニナレバ、十年ノ間ニ千七百
七十萬圓ノ歳入ノ不足ニナルノデアリ
マス、又軍縮會議ニ關係スル範圍内ニ
於キマシテモ、即チ昭和十一年度ダケ
ニ付キマシテモ、千何百萬圓ト云フモ
ノガ、此政府ノ計算ヨリハ收入ニ於テ
狂ヒテ生ズルコトニナッテ、此十年計畫
竝ニ昭和十一年度ニ互ッテノ剩餘財源
ノ計算ハ、根本カラ總テガ狂ッテ來ル
重大ナル問題デアアルノデアリマス、仍
テ私ハ此點ハ詳カニ政府ノ御計算ノ基
礎、竝ニ御意見ノ在ル所ヲ承ッテ置カ
ナケレバナラヌノデアリマス、ソコデ
私ハ先ヅ以テ大藏大臣ノ貸賃價格ニ
四・五ヲ掛ケタモノヲ基本トシテ、ソレ
カラ減稅ヲスルト云フヤウナコトハ、
觀念上ニ於テ御間違デアルト云フコト
ヲ論ズル前ニ、先ヅ數字上ノ基礎ヲ承
リタイノデアリマス、私ノ計算ニ依リ
マス、斯ウ云フコトニナルノデアリ
マス、茲ニ「稅第八號」トシテ御提出ニ
ナッタモノニ、昭和五年一月一日現在ト
シテアリマスガ、之ニ地價ト地租ガ盛
テアリマス、サウシテ段別モ出テ居リ
マス、此段別——田畑、宅地其他ノ種
目ニ付テ、昭和四年十月ニ御調べニナ
リマシタ貸賃價格ヲ掛ケマス、ソレ
ハ私ノ計算ニ依ルト、十七億六千八百
六十三萬九千六百四十八圓ニナルノデ
アリマス、サウスルト前ノ地價トハ大

分狂ヒテ生ジテ居ルノデアリマス、併
シ是ハ貸賃價格總體ノ問題デアリマス
カラ、正確ノ計算ヲ致シマスノニハ、
此中カラ三倍八分ニ制限セラレマシタ
所ノ貸賃價格ガドレ位アルカト云フコ
トヲ引去ラナケレバナリマセス、是ハ
他ノ材料デ御提出ニナッテ居ルモノデ
分ッテ居リマス、更ニ其中カラ二百圓ノ
免稅點以下ニ落チタモノガアリマスカ
ラ、此貸賃價格ヲモ引カナケレバ正確
デハアリマセス、ソレヲ引キマス、
十五億五千餘萬圓ニナルノデアリマ
ス、是ガ國稅トシテノ地租課稅スベ
キ基本ノ數字ニナルト思フノデアリマ
ス、之ニ百分ノ四・五ヲ掛ケマス、其
地租額ハ六千九百七十九萬五千八百十
圓トナルノデアリマス、是ガ貸賃價格
ニ依ッテ課稅スベキ地租額ニナルト思
フノデアリマス、而シテ現在ノ地租額
ハ、此「稅第八號」ニ御示シニナッタ如
ク、七千五百四十一萬一千八百三十五
圓デアアル、併シ是ハ二百圓ノ免稅點以
下ノモノモ入ッテ居ル數字デアルト云
フ御説明デアリマスカラ、此中カラ、
政府ノ方カラ御示シニナッタ所ノ七百
三十九萬一千幾ラヲ引カナケレバ正確
デハアリマセス、ソレヲ引キマス、
現行法ニ依ッテノ地租額ハ六千八百二
萬餘ト、私ノ計算ハナルノデアリマス、
サウスルト、此新地租法ニ依ッテ課稅セ

ラルベキ金額ハ、先程申シマシタ六千
九百七十九萬何ボニナルカラ、之ヲ差
引キマス、百七十七萬五千圓ノ相違
ガ此處ニ出來ルノデアリマス、若シ私
ノ數字ニシテ過チガナイト致シマスレ
バ、百七十七萬五千圓ト云フモノヲ、
先ニ餘計取ルヤウナ計算ヲシテ置イ
テ、其中カラ千八十萬圓ヲ減稅スルト
云フコトハ、計算ノ根本ニ於テ間違ッ
テ居ラナイカ、若シ果シテ根本ニ於テ
間違ッテ居ルモノヲ御提案サレルト云
フナラバ、既ニ根本ニ於テ問題ヲ惹起
スルノデハアルマイカ、ノミナラズ此
十年計畫ガ根本カラ崩レルコトニ相成
ルノデアリマス、總テガ之ヲ基礎トシ
テ論議シナケレバナラヌ重要ナ點デア
ルト思ヒマス、或ハ私ノ思違ヒカモ知
レマセヌノデ、詳シク御説明ヲ願ヒマ
シテ、其上ニ私ノ質問ヲ更ニ進メタイ
ノデアリマス

○青木政府委員 只今ノ御質問ハ此貸
賃價格ニ改メテサウシテ百分ノ四・五
ヲ掛ケタモノハ御計算ノ現行地租、即
チ貸賃價格ニ改メナイモノヨリモ餘程
殖エル、斯ウ云フコトヲ前提トシテ御
話ガアッタヤウニ伺ヒマシタ、詳細ナル
數字ニ付テハ今仰セニナリマシタコト
ヲ即座ニ私ハ諒解シ難イノデアリマ
スガ、私ノ方ノ數字ヲ詳細ニ説明致シ

マシテ御諒解ヲ得タイト思フノデアリマス、先ヅ先日第二十一號トシテ差上
 デマシタル表ニ書イテゴザイマス、其
 表ハ地租率ヲ百分ノ四・五トシタル場
 合ノ地租増減表ト云フノデアリマシ
 テ、ソレニ依リマシテ現行地租額ハ六
 千七百六十六萬七千圓デアリマス、而
 シテ此改正地租額ハ六千七百五十四萬
 五千圓デアリマスカラ、改正地租額ガ
 十二萬二千圓減ジテ居ル、斯ウ云フコ
 トニナツテ居リマシテ、只今御話ニナリ
 マシタノトハ大部相違シテ居リマス、
 即チ前ニモ申上ゲマシタ通り百分ノ
 四・五ニスレバ、貸賃價格テ取ルノモ、
 或ハ地價テ取ルノモ大差ナイト云フコ
 トヲ前ニ申上ゲテ居リマシテ、其差ノ
 十二萬二千圓、而モ貸賃價格テ取ル方
 ガ減ジテ居ルト云フコトニナツテ居リ
 マスカラ、只今申上ゲマシタ數字ガ正
 確デアル以上ハ、只今御質問ニナリマ
 シタヤウナ結果ニハナラナイ、併シ斯
 様ニ申上ゲマシテモ、私ガ持ッテ居リマ
 ス六千七百六十六萬七千圓ト云フ現行
 地租額ト、改正地租額ノ六千七百五十
 四萬五千圓ト云フモノニ付テ御納得ガ
 行キマセスケレバ私ノ説明ガ役立タナ
 イ譯デアリマスカラ、此六千七百六十
 六萬七千圓ハ六千七百五十四萬五千圓
 ガ出テ參リマス道行キテ是カラ少シ長
 クナリマスケレドモ詳細ニ御話申上ゲ
 マス、先ヅ現行地租額ト申シマスル六
 千七百六十六萬七千圓ノ出テ參リマス
 基礎ヲ申上ゲマス、ソレハ先ヅ第一ニ
 昭和五年一月一日現在ノ地租額ヲ算出
 致シマスニ付キマシテ、昭和五年一月
 一日現在ノ有租地地價額ニ現行法ノ地
 租率ヲ乘ジテ計算シタモノデアリマ
 ス、ソレヲ大體ノ根據ト致シマシタ、
 其數字ハ田租ニ於キマシテ四千五百六
 十一萬五千七百四圓、畑租ニ於キマシ
 テ二千二十四萬八千六百四十四圓、宅地租千
 七百六十七萬六千六百六十餘圓、雜地
 租百八十七萬五千一百一圓、合計七千五
 百四十一萬四千三百三圓デアリマス、之ニ
 對シマシテ先ヅ二百圓以下ノ自作農ノ
 免除額ヲ控除致サナケレバナリマセ
 ス、ソレハ此昭和四年度ノ實績ニ依リ
 マスト、田租ニ於キマシテ四百六十四
 萬三千七百十六圓、畑租ニ於キマシテ
 二百七十四萬七千六百七十一圓、合計
 七百三十九萬九千三百八十七圓デアリマ
 ス、ソレカラ又尙ホ控除シテ見ナケレ
 バナリマセヌモノハ、災害地ガアリマ
 スト云フト、地租ノ免除ヲスルト云フ
 コトハ毎年ノ例デアアル、此豫算ノ見積
 ラ致シマス時ニハ、大抵前七箇年ヲ取
 リマシテ、其中デ最高最低ノ年ヲ除キ
 マシテ、五箇年ノ平均額ヲ出シマシテ、
 サウシテソレヲ災害地ノ地租ノ免除額
 トシテ見ルノデアリマス、左様致シマ
 シテ見マシタ金額ガ、田租ニ付テハ二
 十五萬七千二百二十四圓、畑租ニ於テ
 一萬三千三百九十九圓、合計二十六萬七千三
 百六十三圓デアアル、ソレカラシテ尙ホ
 昭和五年一月一日現在ノ地租額ヲ取リ
 マシタカラ、昭和五年内ニ於テ土地ノ
 異動ガ起ルト云フコトモ豫算ノ上ニハ
 見ナケレバナリマセヌ、是モドレダケ
 ノ異動ガ起ルカト云フコトハ、從來ノ
 遺方ガ前五箇年ノ平均ヲ取ルコトニ致
 シテ居リマス、此異動ノ起リマス場合
 ハ、或ハ田ガ畑ニナツタリ、或ハ畑ガ宅
 地ニナルト云フヤウナコトデアリマス
 ガ、大體ニ於テ殖エル場合モアリ、減
 ル場合モアルノデアリマス、ソコデ減
 ル場合ト殖エル場合ト別々ニ計算ヲ
 致シマシテ、サウシテ前五箇年ノ平均
 ヲ見タノデアリマス、サウ致シマス
 云フト、異動ニ依テ地租ガ殖エマス五
 箇年ノ平均額ガ、田租ニ付キマシテ十
 四萬六千三百七十九圓、畑租ニ於テ七
 萬一千五百二十二圓、宅地租ニ於テ二
 萬二千二百四十二圓、雜租ニ於テ一萬
 七千五百二十四圓、合計シテ四十四萬
 七千九百九十七圓ト云フ異動ニ依ル増額
 ガアリマス、ソレカラ今度ハ減ル方ハ、
 五箇年平均デアリマスガ、田租ニ於テ
 十四萬三千三百六十六圓、畑租ニ於テ五
 萬七千九百四圓、宅地租十二萬四千四
 十一圓、是ハ區劃整理ノ關係モ含マレ
 テ居リマスガ、雜地租ガ九千二百六十
 六圓、合計致シマシテ異動ニ因リ地租
 ノ減リマスモノガ、三十三萬四千三百
 七十七圓デアリマス、ソレカラシテ尙
 ホ茲ニ考慮ニ入レナケレバナリマセヌ
 モノハ、御承知デアラウト思ヒマスガ、
 市町村デ徵收致シマスノト、ソレカラ
 稅務署ノ土地臺帳ノ通計致シマシタモ
 ノ等ニ付キマシテ、算出上ソコニ多少
 異動ガゴザイマス爲ニ、稅務署デ計算
 致シマスノト、市町村ガ徵收致シマス
 地租額ニ於テ多少ノ相違ガ生ズルコト
 ガアルノデアリマス、ソレモヤハリ過
 去三箇年間ノ平均額ヲ取リマシテ云フ
 ト、田租八萬八千四百九十八圓、畑租
 ガ四萬三千三百三十六圓、宅地租ガ五萬
 八千九百三十一圓、雜地租ガ九千五百
 三十七圓、合計致シマシテ十九萬八千
 三百二圓ト云フモノガ減ルコトニナル
 ノデアリマス、是等ノ地租額ノ免除或
 ハ災害地ノ地租ノ免除、異動ニ因ル地
 租ノ増減、市町村徵收金増減額等ヲズ
 ヲ寄セマスト云フト、減ルモノモアリ、
 殖エルモノモアルノデアリマスガ、ソ
 レヲ差引致シマシテサウシテ其結果ヲ
 見マスト云フト、田租ト云フモノガ四
 千六十二萬四千三百四十九圓、畑租ト
 云フモノガ七百四十六萬二千六百六
 十六圓、宅地租ガ七百七十萬五千九百三
 十四圓、雜地租ガ百八十七萬三千八百

二十二圓、合計致シマシテ六千七百六十六萬六千七百七十一圓ニナリマス、其外ニ伊豆七島ノ地租ノ部分ガ、極ク僅カデアリマスガ、田租二百四十八圓、畑租千九十七圓、雜地租ガ百三十一圓、之ヲ合計致シマシテ、千四百七十六圓、是ハ收入見込額デアリマスガ、極ク僅カナ金額デアリマス、ソレ等ノモノヲスツカリ合計致シマスト云フト、此第二十一號トシテ差上ゲマシタ所ノ表ニ合致スルノデアリマシテ、田租ガ四千六百十二萬四千五百九十七圓、畑租七百四十六萬三千六百三十三圓、宅地租千七百七十萬五千九百三十四圓、雜地租百八十七萬三千九百五十三圓、合計六千七百六十六萬七千圓ト云フモノガ出テ參リマス、ツマリ若シ地租ノ改正ヲ致サナカツタナラバ、吾々ガ豫算ヲ見積ル時ニ斯ウ云フ方法ヲ以テ見積ルタデアラウト云フ數字デアリマス、ソレカラ次ニ賃貸價格ノ百分ノ四・五ト云フモノヲ取リマス場合ノ見積額ハ、全ク今ノト同ジデアリマス、唯茲ニ多少ノ相違ノアリマスノハ、先ヅ第一ニ、私共ノ方デハ大正十五年四月一日現在ニ於テ賃貸價格ヲ調査致シマシタガ、ソレ以後ノ異動ト云フモノヲ加除シナケレバナリマセス、加除致シマシテ、地價ノ場合ト同ジヤウニ、一應昭和五年四月一日現在ノ賃貸價格ヲ出シマシテ、サ

ウシテソレニ單純ニ百分ノ四・五ト云フ稅率ヲ掛ケタ數字ヲ先ヅ出シテ居リマス、ソレガ田租ガ三千七百六十萬六千三百四十五圓、畑租ガ九百七十七萬二千九百五十六圓、宅地租二千八百六十一萬三千三百三十五圓、雜地租二百三十八萬一千二十九圓、合計七千八百三十七萬六千六百六十五圓ト云フモノガ出ルノデアリマスガ、先刻御話ニナリマシタヤウニ此度ノ制度ニ依リマスト云フト激増緩和ヲ致シマス、ソレニ依テ減ズル金額ガ田租ニ於テ四萬百七十二圓、畑租五萬八千二十三圓、宅地租百七十六萬二千三百八十圓、雜地租十萬七千四百二十五圓、合計百九十六萬七千九百四十圓ト云フモノガ激増緩和ニ依ル減デアリマス、ソレカラ尙ホ當委員會ニ付託ニナツテ居リマス耕地整理法ノ關係ニ於テ激減スル金額ガ、田租六十二萬四千六百三十三圓、畑租三萬二千五百七十圓、合計六十五萬六千七百三十三圓ヲ減シマス、ソコデ差引致シマシテ、田租ニ於テ三千六百九十四萬二千七百七十圓、畑租ニ於テ九百六十八萬二千三百六十三圓、宅地租ニ於テ二千六百八十四萬八千九百五十五圓、雜地租二百二十七萬三千六百四圓、合計致シマシテ七千五百七十四萬六千九百九十二圓トナルノデアリマス、更ニ之ニ對シテ、此地租法ニ規定致シテ居リマ

ス賃貸價格一圓未滿ヲ免除スルト云フコトガゴザイマス、ソレハ餘リ長クナリマスカラ地目別ハ略シマシテ總計ダケヲ申上ゲマス、サウ致シマスト云フト、賃貸價格一圓未滿ヲ免除スルヲ以テ減ジマスノガ五萬八千五百二十一圓、ソレカラ地租ノ免除減額七百八十二萬五千六百八十一圓、災害地ノ地租免除ハ先刻現行地租ノ説明ト同ジデアリマシテ、ソレガ二十二萬一千六十四圓、異動ニ依ル増租額ガ五十四萬七千二百五十八圓、異動ニ依ル減租額ガ四十二萬六千八百四十一圓、市町村徵收上ノ減租額ガ、二十一萬八千二百九十六圓デゴザイマス、之等ノモノヲ差引計算致シマスト、此第二十一號トシテ差上ゲマシタ改正地租額ノ田租ガ三千七百七十一萬四千二百十四圓、畑租六百七十五萬六千六百四十圓、宅地租二千六百八十四萬六千七百四十三圓、雜地租ニ於テ二百二十三萬二千二百五十圓、合計六千七百五十四萬三千八百四十七圓、ソレニ伊豆七島ノ分ヲ加ヘマシテ、合計六千七百五十四萬五千三百二十三圓ト云フモノガ出マス、之ヲ要スルニ百分ノ四・五トシタ場合ノ地租額ト、地價デ地租ヲ取ル現行法ノ金額トノ間ノ其差ガ十二萬二千圓デアルト云フコトニ付キマシテハ、只今ノ數字デ御諒承下スツタコト、思フノデアリマス

○武田委員 只今青木政府委員ノ詳細ナル御説明ヲ承リマシタガ、數字ニ互ハ十分ニ其是非ヲ點檢スルコトハ出來マセヌカラ、今御話ノコトヲ表ニ作ッテ分ルヤウニシテ御提出ヲ願ヒタイ、併ナガラ私今御計算ノ仕方ヲ承リマスルノニ、間違ッテ居ルヤウニ考ヘルノデアリマス、何トナレバ今ノ御話ヲ承ッテ見テモ、即チ昭和五年一月一日現在ノ有租地ニ取捨ヲナサル上ニ於テ、多クハ豫定デアリマス、或ハ災害免租ハ此位アルダラウ、或ハ異動地ハ前年ニ比シテ此位アルダラウト云フヤウナ豫定デ御決定ニナツタノデアリマス、翌年度ノ豫算ヲ御立テナサル場合ニハ勿論豫定デ差支ヘアリマセス、併ナガラ法律ノ課稅率ヲ決定スル場合ニモ、豫定額デ御決定ニナルト云フコトハ違ッテ居ルト思フ、最近ノ確定數字ニ依ッテ御計算ニナルノガ相當デアラウト思フ、即チ昭和五年一月一日ト云フモノハ實數デアアル、何等ノ豫定ノ入ラナイ實數デアアル、此實數ニ依ッテドウ云フ計算ニナルカラ御キメニナツテ、其實數ニ依ッテ計算ニナツタ數字ガ三・八ニ丁度合フト云フコトナラバ、ソレハ私ハ首肯致シマス、サウシテ後ハ其年々々ノ異動ヲ加除スルト云フコトハ當然デアリマス、若シ今ノ青木政府委員ノヤウナ計

算ヲスルト、昭和七年ニハ又違ッテ來ル、減ズルコトモアリ、減ジナイコトモアル、故ニ基礎的ノ率ヲ定メル上ニ於テハ、ドウシテモ最近ノ確定的ノ數字ヲ基トシテ御計算ニナルベキモノト思フ、更ニ大藏大臣ニ伺ヒタイコトハ、現在吾々ノ當然負擔スベキ地租額カラ御減税ニナル御豫定ノ數字、即チ一千八十萬圓ヲ減ズルト云フ建前デナケレバ私ハ違フト思フ、即チ先程申上ゲマシタ如ク、賃賃價格ニ四・五ヲ掛ケルト云フコトハ、何等法律ノ規定ニ依ッテ居ナイノデアリマス、ソレガ吾々ノ當然負擔スベキ地租額ト、決定スベキ何等ノ根據ガナイノデアリマス、サウシタナラバ稍現在ノ地租額ト似タモノガ出ルデアラウト云フ大藏省内ノ御豫定デアッタ、其御豫定ハ幸ニ今青木政府委員ノ御説明ノ如ク、十二萬位ノ差デア

レバ大差ハゴザイマセス、若シ私ノ考ヘルガ如ク、百七十七萬モ違フト云フヤウニナレバ、非常ニ根本ガ違ッテ來ルト云フヤウニナルノデアリマス、ダカラ根本ノ考ニ賃賃價格ニ四・五ヲ掛ケタモノヲ基本トシテ、ソレカラ豫定セラル、減税額ヲ御差引ニナルト云フ、其建前ガ私ハ違ッテ居リハシナイカ、斯様ニ考ヘルノデアリマスガ、大藏大臣ノ御意見ヲ一應承リタイノデアリマス

○井上國務大臣 前ニ御説明シマシタ數字ノ關係デアリマスカラ、一應政府委員カラ答辯サシテ、ソレカラ私ガ答辯致シマス

○青木政府委員 只今御話ノ點ハ、一應御尤モノヤウナ所モアルヤウニモ伺ヒマシタケレドモ、一ツ御考ヲ願ヒタ

イコトハ、減税金額ガ幾ラデアアルカト云フコトヲ計算致シマス爲ニハ、是ハモウ所得稅デモ、營業收益稅デモ、何デモ同ジデアリマス、私共ノ方デハ減税ヲシナイモノトシテ、一應昭和六年度ノ豫算ヲ見積リ、或ハ昭和七年度ノ數字モ出シ、昭和八年度ノ數字モ出シテ見テ、法律ヲ變ヘナカッタナラバ斯ウ云フコトニナル、所ガ今度減税ヲシ

タ爲ニ其金額ガ幾ラニ減ルカト云フ計算ヲ立テマシタノガ、即チ減税金額デアリマシテ、今ノ地租ニ付テ千八百一十萬圓ト云フ數字ヲ出シマシタノハ、減税ヲシナカッタナラバ幾ラニナッタノデアラウカ、然ルニ今度減税ヲシタカラ幾ラニナル、其差額ガ一千八百一十萬圓ニナル、サウスルト若シ減税ヲシナカッタナラバドウ云フコトヲヤッタカト言ヘバ、百分ノ四・五デ賃賃價格デ稅ヲ課ケル、斯ウ云フ方針デアリマシタカラ、ソレ

デ賃賃價格ノ百分ノ四・五デ稅額ヲチヤント出シマシテ、ソレニ對シマシテ今度ハ百分ノ三・八ヲ掛ケテ見タ、所ガ是ダケ減リマシタ、故ニ一千八百一十萬

圓ト云フモノガ減税金額デアリマス、斯ウ云フ風ニ申上ゲテ居リマス

○武田委員 青木政府委員ノ御話ハ、見ヤウニ依ッテハ、或ハ失禮ナ言葉ニ當ルカモ知レマセヌガ、一ツノカラクリガ其中ニアルトモ言ヒ得ルノデアリマス、ドウシテモ當リ前ノ考カラ常識的ニ考ヘマスト、法律ノ率ヲ定メル時ニ、今御話ノ如ク此地租法ガ出來ナイ場合ニ吾々ガドレダケノ負擔ヲスルカト云フコトヲ先ヅキメル、是ハ仰シヤル通り正シイ考デアリマセウ、唯併シ地租法ガ出來ナイ場合ニ、吾々ガドレダケ負擔スルカト云フコトヲ、確定的ニキメナケレバイケナイノデアリマス、然ルニソレニ豫想ヲ加ヘルト云フコトハ、其豫想ノ仕方ニ依ッテ非常ナ相違ヲ來スノデアリマス、即チ單的ニ申セバ、私ノ計算ト政府ノ計算ト違フノハソコニアルノデアリマス、豫想ヲ以テ此法律ノ率ヲ定メル基礎數字ニセラレルト云フコトハ、ドウシテモ觀念上誤ッテ居ルト私ハ思ヒマス、若シ左様ナコトヲ許サレルナラバ、私ハ他ノ計算ヲシテ見タイノデアリマス、賃賃價格表ノ御決定ニナッタ昭和四年十月、大抵豫算ノ御決定ニナルノハ毎年前年ノ十月デアリマス、サウスルト此計算ニ依ッテヤッテ見マスト、即チ昭和四年度ニ此事ガ決定サレタト致シマスト、昭和四年度ノ

十月ニ此計算ニ依ッテ見マスト、私ノ計算ニ依レバ餘リ細カニナリマスカラ、略シマスガ、其結果ダケヲ申シマスト、私ノ計算トハ一千萬圓以上ノ相違ヲ來スノデアリマス、故ニ豫想ヲ加ヘテ計算スルト、年々非常ナ相違ガ出來ル、是ハ實際ノ豫算ニ歲入トシテ計上スル場合ニハ、其年ノ狀況ニ依ッテ變化ヲ生ズルト云フコトハ私ハ異論ハアリマセヌ、併ナガラ法律上ノ率ヲキメルト云フ時ニ於キマシテハ、何處ヲ抑ヘルカト云フコトハ、是ハ別問題デアリマスガ、最近ニ分リマシタ所ノ確定的ノ數字ヲ基トシテヤラナケレバナラヌト私ハ思フノデアリマス、其點ニ於テドウシテモ青木政府委員ノ御考ハ間違ッテ居リハスマイカ、斯様ニ考ヘルノデアリマス、其點ニ付テ今一應御説明ヲ煩シマス

○青木政府委員 一寸申上ゲテ置キタイコトハ、金額ヲ出シテ後ニ、三・八ヲ出シタト云フ御言葉ガゴザイマシタケレドモ、サウ云フコトハ決シテ致シマセヌノデ、三・八ヲ出シマシタカラ、千八百一十萬圓ト云フ金額ガ後カラ出タノデゴザイマス、是ハ一寸念ノ爲ニ申上ゲテ置キマス、ソコデ私ガ申上ゲタイト思ヒマスコトハ、減税金額ト云フモノハ何デアアルカト云フコトヲ考ヘマスト、昭和六年度、或ハ七年度ニ於テ

是ダケ減リマシタ、故ニ一千八百一十萬

圓ト云フモノガ減税金額デアリマス、

斯ウ云フ風ニ申上ゲテ居リマス

○武田委員 青木政府委員ノ御話ハ、

見ヤウニ依ッテハ、或ハ失禮ナ言葉ニ當

ルカモ知レマセヌガ、一ツノカラクリ

ガ其中ニアルトモ言ヒ得ルノデアリマ

ス、ドウシテモ當リ前ノ考カラ常識的

ニ考ヘマスト、法律ノ率ヲ定メル時ニ、

三・八デ地租ヲ取ル、賃賃價格ノ百分ノ三・八デ地租ヲ取ル、其金額ノ算出ノ仕方ニ付テハ、ドウモ是ハ將來ノコトデアリマスカラ、私共ノヤリマスカラニシカ、ヤレナイト思フノデスガ、所ガ今ノ御話ハ、何カ過去ノ實際取レタ金額ト較ベテ、サウシテ今度取レル金額ヲ比較シテ、ソレデ以テ減税金額ヲ計算スベキモノデアアルト云フヤウナ御信念デ御話ニナッテ居ルヤウニ伺ヒマシタガ、減税金額ヲ計算致シマス時ニ、過去ノ実績ト比較スレバ、今度ノ地租額ハ是レ位減ル、サウ云フ風ナ言表ハシ方ヲスルコトモ、或ハ一ツノ言表ハシ方ダラウト思ヒマスケレドモ、私共ハサウデアリマセヌノデ、私共ノ減税金額ト云フモノハ、將來現行法ノ儘で行ケバ斯ウナルデアラウ、所ガ今度ノ改正ニ依ッテハ斯ウナルカラ、其差額ヲ以テ減税金額ト申シテ居ルノデアリマシテ、過去ニ於テ地租ガ幾ラ取レタ、或ハ取レルデアラウ、サウ云フ過去ノ金額ト、將來ノ金額ヲ比較シテ減税金額ヲ出サナイノデアリマスカラ、是ハ減税金額ト云フ金額ノ計算ノ仕方ノ考ノ違ヒノヤウニ私ハ思ヒマス

○武田委員 青木政府委員ノ御説明ノ中デ、多少諒解シタ點モアリマス、即チ千八十一萬圓ノ減額ト云フモノニハ三・八ト云フモノヲ掛ケテ見タラサウ云フコトニナッタノダト云フコトハ、是ハ諒承致シマス、サウ致シマスト云フト兎ニ角今日ノ農地ノ負擔ノ狀況カラ見テ、減額ハ百分ノ三・八ガ適當デアラウ、斯ウ達觀的ニオキメニナッテ、法律ノ率ヲ定メラレタ、其オキメニナッタモノニ依ッテ計算シテ見タラ、千八十一萬圓ニナッタト云フ御説明デアレバ、ソレダケハ諒承致シマス、サウ致シマスト、私ノ先程申上ゲタ計算ガ正シイト致シマスナラバ、同ジク其處ニ百八十七萬圓ノ差ガ出來ルノデアリマス、サウシテ其差ト云フモノハ、事實政府ノ豫定サレタル千八十一萬圓ヨリハ少クナル、即チ實際ニ於テハ漸ク九百萬圓内外ノ減額ニシカナラナイト云フ結論ニ達スルノデアリマス、ソレハ同ジコトヲ繰返サウデアリマスガ、結局スル所、青木政府委員ノ御考ニ依ルナラバ、請リ豫定ノモノヲ入レテモ差支ナイト云フ御意見、私ハ法律ノ率ヲキメル場合ニハ豫想ヲ組入レルベキモノデナマセスケレドモ、法律的ニ之ヲ決定スル場合ニハ、確定的ノ數字デアルノデアリ、斯様ナ意見ノ相違ニ歸著スルノアル、先程御願シタ材料ノ出タ上デ、更ニ此事ニ付テ御伺ヲスルコトニ致シマシテ、大藏大臣ニ最初ニ御伺シタ點ヲ御

説明ヲ願ヒタイノデアリマス、即チ誤解ノナイヤウニモウ一遍申上ゲテ置キマス、即チ賃賃價格ヲ御定メニナッタ、ソレヲ四・五掛ケルト云フコトヲ基本ニシテ、ソレカラ豫定サレタル減税額ヲ御引キニナルト云フコトハ、ドウシテモ私ハ觀念上違ッテ居ル、數字ノ如何ハ兎モ角トシテ、此地租法ガ法律ニナラナイ場合ニハ、當然吾々ガ負擔スベキ地租額ト云フモノカラ引クト云フコトデナケレバナラヌノデアリマス、嚴密ナル意味カラ申上ゲレバ、政府ノ御計算通りニ致シマシテモ十二萬幾ラノ差ガ出テ居ルノデアリマス、私ノ計算デハ百七十七萬出ル、政府ノ御計算ニ依ッテモ十二萬幾ラト云フモノガ出テ居ル、キツチリ同一トハ言ヘナイノデアリマス、故ニ觀念上カラ、ドウシテモ是ハ如何ナル計算ヲ致スノガ適當デアルカト云フコトハ次ノ問題ニ致シテモ、兎モ角此地租法ガ成立シナイ場合ニ於テハ、相當吾々ガ負擔シナケレバナラヌ數字ヲキメテ、ソレカラ豫定ノ負擔輕減ノ額ヲ引去ルト云フコトデナケレバ、減税ノ手續上適正ナル方法トハ私ハ考ヘラレナイヤウニ思フノデアリマスガ、其點ヲ大藏大臣ノ御考ヲ伺ヒタイノデアリマス

○井上國務大臣 只今武田君ノ言ハレルコトハ、政府委員ノ説明シタト同ジコトニナルト思ッテ居リマス、政府委員ハ要スルニ地租法ノ改正ナカリセバ、昭和六年度以降ニハドレダケノ地租ガ取レルカト云フコトヲ一ツ此處ニ掲ゲテ置イテ、サウシテ一方ニハ三・八ト云フモノヲ賃賃價格ニ掛ケテ見ルト、丁度其間ニ千八十何萬圓ノ差ガアルカラ、ソレヲ吾々ハ減税額ト唱ヘテ居ル、斯ウ云フコトデアリマシテ、武田君ノ言ハレルコト、結局ハ同ジコトニナルノデアリマス、要スルニ地租法ノ改正ナカリセバ、昭和六年度、七年度以降ハドレダケ地租ガ取レルト云フコトヲ一ツ置イテ、サウシテ一方ニハ賃賃價格ヲ課税標準トスル法案ヲ定メテ、ソレデ三・八ト云フモノヲ掛ケテ見ルト、ソコニ千八十一萬圓ノ差ガ出タ、ソレヲ減税額ト吾々ハ唱ヘテ居ル、斯ウ云フコトニナリマス

○武田委員 大藏大臣ノ御答辯ハ、前ノ御答辯ノ趣旨ト精神ニ於テ異ッテ居リマス、大藏大臣ハ、私ノ最初質問ヲ致シマシタル時ニハ、賃賃價格ニ四・五掛ケルト云フコトハ、賃賃價格ヲ決定シテ、即チ一昨年デスカ實行スルト云フ時ニ、四・五掛ケル豫定デアッタ、仍テ中カラ三・八ヲ掛ケタモノヲ引クト是レ是レニナル、斯様ナ御説明デアッタノデアリマス、其數字ガドウナルカト云

フコトハ姑ク措キマシテ、數字ヲ離シテ觀念上カラ私ハ御伺スルノデアリマス、例ヘバ四・五ハ假ニ四・三ナリ五ナリ、ソレデ賃賃價格ト云フモノヲ定メタ、賃賃價格ト云フモノハ、大藏大臣ノ最初ニ御説明ノ通り、負擔ノ均衡ヲ得ルニハ、賃賃價格ガ地價ヨリモ宜シイト云フコトヲ御定メニナッタダケノコトデアリマシテ、率ヲ如何ニスルカト云フコトハ、是ハ別ノ問題デス、然ラバ私ハ斯ウ伺ッタラ一番宜カラウト思フ、賃賃價格ニ四・五掛ケタモノヲ基本トシテ、減稅ノ差引勘定ヲシヨウト云フ御考ハ何處カラ出タノデアルカ、斯様ニ伺ッタラ私ノ疑ハ明ニナルデアラウト思ヒマス

改正ナカリセバ幾ラ取レルト云フ、此處ニ本ヲ置イテ、ソレカラ減額ダケノモノガ減稅ニナル、斯ウ云フ理窟デアリマスケレドモ、地租ヲ改正スル場合ニ、賃賃價格ヲ課稅ノ標準トシテ、總額ヲ變ヘナイト云フモノデ、四・五ヲ掛ケテ見タナラバ、十二萬圓ノ差ホカナイカラ、殆ド同額ニナルカラ、同ジヤウナ足取ヲ取ッテ行ッタンダト、斯ウ云フ理窟ニナリマス、併ナガラ理論カラ推シテ來レバ、今政府委員ノ申シマス如ク、地租ノ改正ナカリセバ、昭和六年度以降ニ幾ラ取レルカト云フコトヲ定メテ、サウシテ二・八ヲ掛ケテ、其差額ダケガ減稅ダ、斯ウ云フコトガ正シイ道理ニナルノデアリマス

○武田委員 大藏大臣ハ尙ホ此根本ノ觀念ニ於テ大ナル誤解ガアルヤウニ私ハ思ヒマス、大藏大臣ノ只今ノ御説明ヲ見ルト、賃賃價格ニ四・五ヲ掛ケルト云フト、現在取ッテ居ル地租ト大差ナイモノニナルカラシテサウシタンダ、斯ウ云フ御説明デアリマス、ダカラシテ私ハ觀念上違ッテ居ルト云フ、若シ左様ナルコトヲ許サレマスルナラバ——ソレデ私ガ先程申上ゲタル如クニ、今年左様ナル御計算ヲナサルカラ、今ノヤウナ計算ガ出マスケレドモ、之ヲ昭和四年度ニ假ニ之ヲ實行サレタト云フナラバ、今ノヤウナ計算ハ狂ッテ來ルノデアリマス、是ハドウシテモ筋合カラドウスベキモノダト云フコトヲ先ニ定メテ掛カラナケレバイケナイト私ハ思フ、是ハ青木政府委員ノ言ハレタル如ク、此地租法ガナカリセバ——今仰シヤッタ御言葉通りニ、地租法ガナカリセバ、現ニ吾々ハドレダケノ地租ヲ負擔スベキモノダト云フコトヲ先ヅ決定シテ、ソレカラ差引ヲスベキモノデアリマス、四・五ヲ掛ケルト云フコトハ何ニ依ッテ御定メニナッタカト云ヘバ、今御話ニ依ルト、其處ニ大差ガナイカラサウシタンダト斯ウ仰シヤル、ソレハ年ニ依ッテ大差ガアリ年ニ寄ッテ大差ガナイコトモアルノデアリマス、即チ昭和四年十月ニ、若シ御決定ナサレルト云フナラバ、非常ナ差ガ出來ルノデアリマス、私ノ計算ニ依レバ千萬圓ノ差ガ出來ルノデアリマス、故ニ左様ナル計算ノ仕方ハ、ドウシテモ間違ッテ居ルト言ハナケレバナラス、ドウシテモ之ヲ御改正ニナラウト爲サル時ニハ、確定的ノ數字ヲ本トシテ、當然吾々ノ負擔スベキ地租額ハ幾ラデアル、サウシテソレニ政府ガ適當ト御認メニナッタ三・八ヲ掛ケルト幾ラニナル、其差ハ幾ラ幾ラニナル、斯ウ云フ御説明ナラバ、私ハ納得スルノデアリマス、ドウシテモ私ハ此根本ノ思想ニ於テ、大藏大臣ハ間違ッテ居ラナイカト云フ疑ヲ尙ホ

置クノデアリマス 同時ニモウツ伺ヒタイ、此千八十八萬圓ト云フモノハ三・八ト云フモノニ定メタ結果トシテ、其差ガ出タンダト斯ウ云フ御説明デアリマス、ソレハ先程申上ゲタ通りニ、其御説明ハ私ハ納得致シマス、然ラバ其三・八ト云フモノハ如何ナル根據カラ出タノデアリマス、ソレヲ一ツ伺ッタラ尙ホハッキリ致サウト思フノデアリマス

○井上大藏大臣 先ノ答辯ト只今ノ答辯トノ關係ヲ能ク説明致シマス、賃賃價格ヲ課稅ノ標準ニシテモ、地租ノ總額ニハ變動ナカラシムルト云フコトガ大體ノ目的デアリマス、ソレデアリマスカラ一方ニ於テ地租ノ改正ナカリセバ、昭和六年度以降ニ幾ラノ地租ガ取レルカト云フコトヲ定メ、一方ニハソレト同額ノモノヲドウシテ取レルカト云フテ勘定シテ見ルト、四・五ヲ掛ケルト、其處ニ十二萬圓ノ差ハ出テ來ルケレドモ、大體一緒デアル、サウ云フコトデアリマスカラ——ソレデ道理カラ申シマスレバ、只今言フ如ク、地租ノ

○武田委員 大藏大臣ハ尙ホ此根本ノ觀念ニ於テ大ナル誤解ガアルヤウニ私ハ思ヒマス、大藏大臣ノ只今ノ御説明ヲ見ルト、賃賃價格ニ四・五ヲ掛ケルト云フト、現在取ッテ居ル地租ト大差ナイモノニナルカラシテサウシタンダ、斯ウ云フ御説明デアリマス、ダカラシテ私ハ觀念上違ッテ居ルト云フ、若シ左様ナルコトヲ許サレマスルナラバ——ソレデ私ガ先程申上ゲタル如クニ、今年左様ナル御計算ヲナサルカラ、今ノヤウナ計算ガ出マスケレドモ、之ヲ昭和四年度ニ假ニ之ヲ實行サレタト云フナラバ、今ノヤウナ計算ハ狂ッテ來ルノデアリマス、是ハドウシテモ筋合カラドウスベキモノダト云フコトヲ先ニ定メテ掛カラナケレバイケナイト私ハ思フ、是ハ青木政府委員ノ言ハレタル如ク、此地租法ガナカリセバ——今仰シヤッタ御言葉通りニ、地租法ガナカリセバ、現ニ吾々ハドレダケノ地租ヲ負擔スベキモノダト云フコトヲ先ヅ決定シテ、ソレカラ差引ヲスベキモノデアリマス、四・五ヲ掛ケルト云フコトハ何ニ依ッテ御定メニナッタカト云ヘバ、今御話ニ依ルト、其處ニ大差ガナイカラサウシタンダト斯ウ仰シヤル、ソレハ年ニ依ッテ大差ガアリ年ニ寄ッテ大差ガナイコトモアルノデアリマス、即チ昭和四年十月ニ、若シ御決定ナサレルト云フナラバ、非常ナ差ガ出來ルノデアリマス、私ノ計算ニ依レバ千萬圓ノ差ガ出來ルノデアリマス、故ニ左様ナル計算ノ仕方ハ、ドウシテモ間違ッテ居ルト言ハナケレバナラス、ドウシテモ之ヲ御改正ニナラウト爲サル時ニハ、確定的ノ數字ヲ本トシテ、當然吾々ノ負擔スベキ地租額ハ幾ラデアル、サウシテソレニ政府ガ適當ト御認メニナッタ三・八ヲ掛ケルト幾ラニナル、其差ハ幾ラ幾ラニナル、斯ウ云フ御説明ナラバ、私ハ納得スルノデアリマス、ドウシテモ私ハ此根本ノ思想ニ於テ、大藏大臣ハ間違ッテ居ラナイカト云フ疑ヲ尙ホ

○小川政府委員 武田君ノ御質問ハ繰返サレテ居リマスカラ、一寸私カラ違ッテ御話シテ見タイト思ヒマスガ、大體此減稅ト云フモノガ、今度ノ此海軍協定ノ問題カラ起ッタノデアリマス、減稅ノコトヲ拔キニシテ考ヘマシタナラバ、御話ノアリマシタヤウニ、租稅ノ負擔ノ公平ヲ圖ルト云フコトヲ目的トシ、租稅ノ負擔ノ公平ヲ圖ルト云フコトデ減稅ヲシナカッタト云フコトデアレバ、其租稅ノ收入ニ増減ナイト云フコトヲ期スルノデアリマス、増減ノナイコトヲ期スルニハ、大正十五年ノ稅制整理モサウデアッタ、今度モ減稅ナカリセバ、地租ニ於テ六千七百萬圓ノ所ヲ狙ッテ、サウシテ負擔ノ公平ヲ圖ルコトニナル、ダカラシテ、六千七百萬圓ト云フ大キナ數字ヲ捉ヘルコトニナル、其六千七百萬圓ヲ得ヨウトスレバ、賃賃價格ニシタナラバ、ドウ云

フ税率ヲ見タナラバ宜イカト云フコト
ニナレバソレガ百分ノ四・五ニナル、百
分ノ四・四ニシマス、ト六千七百萬圓ヨ
リズツト少クナル、百分ノ四・六ニスル
ナラバ六千七百萬圓ヨリハズツト多ク
ナルカラ、ドウシテモ百分ノ四・五ト
云フモノヲ捉ヘタ時分ニ、此地租ノ改
正ニ依ツテ、前後ニ於テ増減ナイト斯ウ
云フヤウナ所カラ、今ノ百分ノ四・五ト
云フモノヲ捉ヘテ計算スルコトニナッ
タノデアリマス、ソレデ尙ホ此計算ノ
コトデアリマスカラ、アナタノ御計算
ノ數字ガ何處カラ出テ居ルカ知レマセ
ヌガ、百何十萬圓ト云フモノヲ御捉ヘ
ニナツテ居ルノカ、或ハ豫算ノ上デ、無
届移動地ガアルノデ、其邊ニ多少ノ誤
解ガアルノデハナイカト思フノデアリ
マス(武田委員「アナタノ材料ニ依ツテ
計算シタノデス」ト呼フ)ソレカラモ
ウ一ツハ最後ニ御話ニナリマシタ百分
ノ三・八ヲドウシテ取ツタカト云フコト
デアリマスガ、大體見込デアリマス、
地租ニ對シマシテ一割五歩見當ノ所ヲ
一ツ減稅シヨウト云フ、斯ウ云フ所カ
ラ見マシテ、多少ノ相違ハアリマスガ、
大綱ミニソレヲ擱ンデ、サウシテ三・八
ト云フ率ガ出テ來タノデアリマス

○**本田委員長** 休憩致シマス、午後一
時三十分ヨリ開キマス
午後零時十七分休憩

午後二時四分開會
○**本田委員長** 休憩前ニ引續キ會議ヲ
開キマス
○**青木政府委員** 先日鑄木君ノ御質問
ニ對シマシテ、私ガ御答ヲ致シマシタ
所ガ、少シ不十分ナコトガゴザイマス
カラ、此際一ツ申上ゲタイト思ヒマス、
ソレハ提出致シマシタ第七表ニ關スル
コトデゴザイマス、此第七表ニ依リマ
スト云フト、現在ノ一坪當リノ地價ト、
ソレカラ今度取調ベマシタ一坪當リノ
賃賃價格トヲ比較致シマシテ、其六大
都市ノ最高ノ所ヲ押ヘテ増加ノ割合ヲ
見マスト云フト、東京ハ九十四割、麴
町デアリマス、日本橋ハ十割、大阪ハ
十五割、京都ハ八割、神戸ハ八割、名
古屋ハ五十三割、斯ウ云フコトニナッ
テ居リマス、名古屋ハ五十三割ニモナル
ノニ、京都ト神戸ハ僅ニ八割程度ニ止
テ居ルノハ甚ダ變デハナイカト云フ御
趣旨ノ御質問ガゴザイマシテ、其當時私
ハ、名古屋ハ明治四十三年ニ宅地價ノ
修正ヲ致シマシタカラ、變動ガ非常ニ
大キカッタノデアリマスガ、京都ト神戸
トハサウ大シタ變動ガゴザイマセヌカ
ラ斯ウ云フ數字ニナリマスト云フコト
ヲ申上ゲマシタケレドモ、ソレデハマ
ダ不十分デゴザイマシテ、賃賃價格ノ
最高ノ土地ト、ソレカラ現在地價ノ最

高ノ土地トガ、同ジ地ト、違フ地トガ
アリマス、ソレデ名古屋ニ於キマシテ
ハ、現在地價ノ最高ノ所ト、賃賃價格
ノ最高ノ所ガ其場所ガ違ツテ居リマス、
所ガ京都ト神戸ハ、賃賃價格ノ一番高
イ所ト、又地價ノ一番高イ所ト同ジ場
所ナノデアリマス、ソコデ此比較表ガ
或ハ作り様ガ少シ惡イト言ヘルカモ知
レマセヌガ、其土地ガ同ジデアッテモ
亦違ツテ居リマシテモ、兎モ角賃賃價格
ノ最高ノ所ガ地價トシテハ幾ラデアッ
タカト云フ表ヲ此處ニ出シマシタカ
ラ、ソレデ名古屋ニ付テ申シマスト云
フト、賃賃價格ノ最高ハ六十五圓デア
テ、地價ハ十二圓ト、斯ウ云フコトニ
ナツテ居リマスガ、此十二圓ハ其六十五
圓ト云フ賃賃價格ノ付テ居ル土地ノ地
價ガ十二圓デアアルノデアリマシテ、名
古屋ノ最高ノ地價ト云フモノハ十二圓
デアハナイノデアリマス、名古屋ノ現在
地價ノ最高ハ七十二圓五十錢デアリマ
ス、ソレガ場所ガ違ヒマス、其場所ハ
違ヒマスガ、是ハ名古屋ノ變動ガ激シ
イ爲ニ、地價ノ最高ノ所ト賃賃價格ノ
最高ノ所ガ違ヒマシタノデ、地價ノ最
高ノ所ハ場所ガ違ツテ居リマス、七十二
圓五十錢デアリマスカラ、七十二圓五
十錢ト六十五圓トノ割合ヲ取レバ、八
割九分六厘ト云フ京都ヤ、名古屋ト大
割九分六厘ト云フ京都ヤ、名古屋ト大
割九分六厘ト云フ京都ヤ、名古屋ト大

○**鑄木委員** サウスルト東京、大阪ハ
ドウデアリマスカ
○**青木政府委員** 御答ヲ致シマス、東
京ノ日本橋ノ百圓ト云フ所ハ、現在地
價ノ最高ハ百二十圓デアアル、場所ハ違
テ居リマスガ、百二十圓デアリマス、
ソコデ百二十圓ト百圓ノ割合ヲ取りマ
スレバ、八割三分三厘ト云フコトニナ
テ居ル、ソレカラ大阪ノ現在地價ノ最
高ハ百十五圓デアリマス、是モ場所ハ
違ツテ居リマス、ソコデ賃賃價格ノ最高
ガ百圓デアリマスカラ、其最高地價ト
最高賃賃價格ノ割合ハ八割六分九厘ト
云フコトニナリマス

○**鑄木委員** サウスルト、同ジ土地ニ
付テ言ハナイ場合ニ於キマシテハ、賃
賃價格ノ方ヨリモ地價ノ方ガ高イト云
フコトニナリマスカ
○**青木政府委員** 御尋ノ通りデアリマ

ス 木政府委員ノヤウナ御答辯ニナリマス ナラバ、既ニ五年一月一日ニ確定的ノ有租地ガアルニ拘ラズ、ソレニ六年度ノ豫定ノ豫算ヲ組ムベキ前五箇年度ノ平均ニ依ッテ豫定サレタ所ノ有租地ヲ計算ニ入レテ、其總額ノ上カラ一割五分ヲ計算スルト云フヤウナコトハ、全然根本的ニ於テ間違ッタ御考デナカラ

○武田委員 先程私ハ御提出ノ材料ノコトデ質問ヲ致シマシタガ、其續キヲモウ少シ伺ッテ置キタイト思ヒマス、先程小川政府委員カラノ御答辯ニ對シテ、私ハ甚シク疑惑ヲ抱イテ居ルノデアリマスガ、小川政府委員ハ御見エデアリマセヌガ、勝政府委員ガ十分ニ御答辯下サルト云フコトデアリマスカラ御尋致ス次第デアリマス、先程私ノ此地租法ニ改正ノ地租ノ課率ヲ三・八ト御規定ニナッタ根本ハ何ニ據ラレルノカト云フ質問ニ對シテ、小川政府委員ハ大體ニ於テ現行地租ノ一割五分ヲ減額スルト云フ計算カラ、斯様な數字ガ出タト、斯ウ云フ御答辯デアリマシタ、

果シテサウト致シマスルナラバ、一層先程ノ青木政府委員カラノ御説明ハ當ヲ得ナイト思フ、何故ナラバ、大體地租ノ一割五分ヲ減ズルト云フ意味ナラバ、六年度ノ豫算ニ如何様ニ數字ガ計上サレルカト云フヤウナコトハ見ル必要ハナイノデアリマス、現在ニ於テ確定シタ有租地ニ對シテ、地租ニ於テハ一割五分ハ幾ラ減ジタラ宜シイカ、或ハ雜種地ニ於テハ幾ラ減ジタラ宜シイカト云フコトヲ、各種目別ノ確定的數字ニ依ッテ計算ラスベキ筋合ノモノト私ハ思フノデアリマス、之ヲ先程青

木政府委員ノヤウナ御答辯ニナリマスナラバ、既ニ五年一月一日ニ確定的ノ有租地ガアルニ拘ラズ、ソレニ六年度ノ豫定ノ豫算ヲ組ムベキ前五箇年度ノ平均ニ依ッテ豫定サレタ所ノ有租地ヲ計算ニ入レテ、其總額ノ上カラ一割五分ヲ計算スルト云フヤウナコトハ、全然根本的ニ於テ間違ッタ御考デナカラ

○勝政府委員 只今武田サンノ御尋シタコトデゴザイマスカラ青木政府委員カラ御答辯申上ゲマシテ、尙ホ御不満足ノ點ガアリマシタナラバ私カラモ申上ゲマス

○青木政府委員 午前ノ會議ノ終リニ、小川政務次官カラ一割五分ヲ減ジタト言ハレマシタノハ、四・五ニ對シテ二・八ガ一割五分デアルト云フコトデアリマス、ソレデアリマスカラ、若シ減稅ガナカッタナラバ稅率ヲ四・五ニスル筈デアリマシタガ今度減稅スルニ付テハ一割五分程度ヲ適當ト認メマシテ、百分ノ三・八ト見レバソレニ依ッテ計算致シマシタ金額ト、ソレカラ四・五デ計算

致シマシタ金額ト、ソレカラ四・五デ計算致シマシタ金額ト、ソレカラ四・五デ計算致シマシタ金額ト、ソレカラ四・五デ計算致シマシタ金額ト、ソレカラ四・五デ計算

○武田委員 其點ハ大體了解致シマシタ、サウスルト又元ニ戻ッテ疑問ヲ提出

致サナケレバナラヌノデアリマスガ、私ノ先程申上ゲタコトニ確定的ノ大藏大臣ノ御答辯ヲ承ラナイノデアリマスガ、私ガ最初ニ申上ゲマシタ如ク、此減稅ノ建前ハ、ドウシテモ賃賃價格ニ四・五ヲ掛ケテ、ソレヲ基本トスルト云フコトハ道理上首肯ノ出來ナイヤリ方デハナカラウカ、ソレニ對シテ大藏大臣ハ、其四・五ヲ掛ケタノハ、略々現在ノ負擔額ト一致スルト思ハレルカラ、併シソレデサウシタノダト仰シヤル、何ナル計算ニ依ルベキカト云フコトハ、既ニ前提トシテ議論ガアルノデアリマス、私ノヤウナ計算ノ仕方ト、青木政府委員ノ御説明ノヤウナ計算ノ仕方トガアリマス、シテ見ルト其前提ノキマラナイノニ、斯様ナル四・五、ソレガトントンニナルト云フヤウナコトヲ仰シヤルト云フコトハ前提ヲ誤ッテ居ル、自分ノ都合ノ好イ前提ヲ定メテ置イテ議論ヲ引出シテモ、ソレハ違フノデアリマス、是ハ左様ナコトヲ爲サラヌデモ、元來吾々ノ當然負擔スベキモノカラ、減稅ニナルベキモノヲ引クト云フコトデナケレバ、觀念上理窟ガ合ハナイノデアリマス、ソレデ然ラバ現在ノ負擔スベキ額ト云フモノハ、何ヲ以テ押ヘルカト云フコトハ別問題デアル、兎モ角賃賃價格ニ或ル豫定ノ四・五ト云フ

モノヲ掛ケテ、之ヲ基本トスルト云フヤウナ論理ノ建方ハ、ドウシテモ間違ッテ居リハシナイカト思フノデアリマス、此點ニ付テ政府委員ノ御意見ヲ承リマス

○勝政府委員 何か少シ根本的ニ、私共ノ考ト武田君ノ御考トガ違ッテ居ルヤウデアリマス、一體減稅トカ増稅ヲ致ス時ニハドウ云フ計算スルカ、今例ヘバ間接稅ニ例ヲ取ッテ見レバ尙ホ能ク分リマスガ、織物ニハ一割ノ稅率ヲ掛ケテ取ッテ居ルガ、若シ之ヲ二割ニ増稅シタナラバ、明年度ニ製造セラレベキ織物ノ稅ヲ倍ニシタダケデハ負擔額ト云フモノハ出マセヌ、稅額ガ倍ニナッタナラバ、必ズ消費減ガ起ラウ

ト云フノデ、相當ナル消費減ヲ引去ッタ基礎數ニ、倍ニナッタ所ノ稅率ヲ掛ケテ、初メテ眞ニ國民ノ負擔スベキ稅額ガ出マス、ソレヲ増稅セザル所ノ以前ノ稅額ト比較シテ、本當ニ是レ々々ノ差額ガ國民ノ負擔ノ増加ニナル、斯ウ云フ計算スル、又之ニ反シテ稅率ヲウント引下ゲタ場合ニハ、其製造高ガマルデ變ラナイモノトシテ、稅率ノ差ノミヲ以テ減稅ト見ルノハ不當デアリマス、非常ニ稅率ガ下ッタヤウナ場合ニハ、自然消費増モ起リ、製造ガ殖エ

ルダラウト云フヤウナコトヲ見込ミマシテ計算スルト云フコトガ普通ノ遣

シテ計算スルト云フコトガ普通ノ遣

方ト思ヒマス、ソレト同ジャウニ、地租改正ノ場合ニ於テ、或ル年度ニ於テ現在ノ税ノ取り方デアラナラバ、國民ハ何千何百何十萬圓ヲ負擔スルデアラウト云フ計算ヲ致シマシテ、今度ハ貸賃價格ニ變ヘマシテ三・八ノ租率ヲ以テ取ルナラバ、國民ハ何千何百何十萬圓ヲ負擔スルデアラウト云フ計算ヲ致シマシテ、其兩者ノ差引額ガ、即チ輕減致ス税額ニナルト云フコトニナリマス、ソコデ昭和六年度ノ地租ノ計算ヲ致ス時ニ當リマシテハ、若シ此際貸賃價格ニ依ルト云フコトヲ廢メ、租率ヲ動カスコトモ廢メマシタナラバ、昭和五年一月一日ノ現在地租ニ對シテ、其後ノ耕地整理ニ依ル移動ハドノ位デア

ルカ、土地ノ移動ノ減ガ幾ラアルト云フ差引シタ計算ヲシテ出タ所ノ地價ニ對シテ、現在ノ租率ヲ掛ケテ、幾ラノ税ガ取レルデアラウト云フ計算ヲスルノデアリマス、是ハ殆ド政府始マツテ以來毎年ヤツテ來タコトデアアル、所ガ今度ハ土地ノ課税標準ヲ貸賃價格ニ改メマシテ、租率ヲ三・八ニシタト云フノ

デ、其取扱方ハ地價ノ代リニ貸賃價格ヲ持ツテ來テ、今マデノ土地毎ニ、異ツテ居ツタ所ノ租率ノ代リニ、三・八ト云フ均一租率ヲ持ツテ來テ計算ヲシタツケデアツテ、從來ノヤリ方ト少シモ變ラナイヤリ方ヲシテ居ル結果、斯ウナル

ト云フコトヲ申上ゲマシタナラバ、御諒解下サルカト思ヒマス
○武田委員 私ハ勝君ノ只今ノ御説明ニハ全然満足致シマセヌ、私ハ勝君ノ御考ハ、根本的ニ御考違ヒデナカラウカト思フノデアリマス、一體減稅ヲスルト云フ時ニ率ヲキメルト云フ場合ニハ、若シ其課稅ノ對象物ノ單價ヲ見得ルナラバ、其單價ニ對シテ一割五分ヲ減ジヤウト云フ見當ヲ先ニ御付ケニ

ナツタナラバ、其單價ニ對シテ先ヅ一割五分ヲ引去ツテ見ルノガ相當デアリマス、ソレヲ如何ナル率ニシタナラ、一割五分ニナルカト云フコトヲ定メテ、其率ヲ定メタモノヲ——明年度ナラ明年度ノ豫算ノ數字ヲ定メル時ニハ、成

程、今仰シヤツタヤウナ異動地ヲ御差引ニナルノモ、ソレハ構ハナイガ、根本ノ率ヲ定メル場合ニ於テハ、ドウシテモ確定的ノ單價ヲ見テ、其單價ニ一割五分ヲ掛ケテ、如何ナル率ヲ盛ツタナラバ、此一割五分ニ當ルカト云フコト

ヲ計算スルノガドウシテモ道理上爾カアルベキコトデアリマス、併シ勝君ノ仰シヤルヤウニ既ニ昭和五年一月一日ニ確定的ノ有租地ガアルノニ拘ラズ、將來ノ不確定的ノ豫想ヲ以テ或ハ災害

ニドレダケ免租地ガアルデアラウ、或ハ異動地ガドウデアラウト云フヤウナ、前ノ五箇年ノ平均數ニ依ツテ見ルト云

フヤウナ不確實ナ、是ハ重ネテ言ヒマスガ、豫算ノ數字ハソレデ決シテ異論ハナイケレドモ、法律ノ率ヲ定メル時ニ至ツテ、サウ云フ不確定ナ數字ヲ基礎トシテ一割五分ヲ御差引ニナルト云フコトハ、私ハ誤ツテ居ルト思フノデア

ル、若シ斯様ナコトガ許サレルト致シマスナラバ、非常ナ相違ガ出來ルノデアリマス、假ニ是ハ昭和四年十月ニ此事ヲ實行シタト云フ場合ニハドウデア

ラウカ、私ハ今アナタノ方カラ戴キマシタモノニ付テ、又別ニ計算ヲシテ見タノデアリマス、是ハ昭和四年ノ十月ニ、即チ此貸賃價格表ト云フモノガ出來タ時ニ、此案ヲ實行シタ場合ニハドウ云フコトニナルカト言ヒマス、即チ地租ニ於テ田畑、宅地、雜種地ト云フモノヲ、現行法ニ依ツテ計算ヲ致シマ

スト、七千五百三十八萬二千五百五十五圓ニナル、但シ此中ニハ二百圓未滿ノ免租地ヲ含ンデ居リマス、是ハ計算上ハッカリシナイカラ含ンデ居ルノデアリマス、之ニ對シテ又貸賃價格ハドウナルカト云フト、四・五ヲ掛ケマス

トハ千六百七十三萬五千九百五十圓ニナルデアリマス、之ヲ差引致シマスト千三百三十五萬三千餘圓ト云フモノガソコニ出ルノデアリマス、之ニハ勿論今ノ二百圓未滿ノモノハ便宜上計算ニ入レテ居リマス、之ヲ雙方ニ如何ヤウニ

差引致シマシテモ地租ト貸賃價格トノ間ニ千萬圓以上ノ差ガ出ル筈ガナイノデアリマス、今マデニ御承知ノ通り貸賃價格ノ二百圓未滿ノモノハ、左様ナ多クノ數字ガ出テ居ラナイノデアリマス、併シ若シ之ヲ正確ニシタイト云フナラバ、一ツ昭和四年十月ニ此表ヲ御作りニナツタ當時ノ貸賃價格トシテ、二百圓未滿ニ落チル所ノ貸賃價格ガ幾ラダト云フコトハ、御手許ノ大藏省ニ御アリナサルダラウカラ、ソレヲ戴ケバ、之ヲ差引シテ正確ナ計算ハ付キマス、併シ假ニ私ノ計算ニ致シマシテモ千百萬圓以上ノ差ガ出ル譯デアリマス、シテ見ルト私ノ概算ニ依ルト如何様ニ十分ナ計算ヲシテ見マシテモ、昭和四年十月ナラ少クとも五百萬圓以上ノ差ガ

ト、例へば田ナラ田一反歩ニ付テ其地價ハ幾ラ、其一割五分ヲ引クコトニシタラ、一反歩ニ對シテドレダケノ金額ヲ減ジタラ宜イカ、畑ハ畑、宅地ハ宅地ト云フ風ニ計算シテ、其總體ノ計算ガ、或ハ百分ノ三・八ニナル、百分ノ四ニナルト云フコトガ始メテ出テ來ルノデアリマス、ソレヲ不確定ノモノヲ入レテ、サウシテ明年度ノ豫定額ニナルト云フコトハ、ドウシテモ私ハ誤ッテ居ルコトデアルト思フノデアリマス、是ハ私ハ少シク冷靜ニ御考ニナレバ、私ノ意見ニ御同意ニナルベキ筈ダト思フノデアリマスガ、如何デアリマスカ

○勝政府委員

極ク簡單ニ申上ゲマスレバ、現在通りノ地租條例ニ依ッテ地租ヲ取リマスレバ、平年度ニ於キマシテハ大體六千八百七十萬圓程取レル、今度ハ賃貸價格ニ依リマシテ二・八ノ稅率ヲ取リマスレバ、平年度ニ於キマシテハ五千八百七十萬圓バカリニナル、サウナリマスレバ丁度差額ガ千萬圓バカリニナル、斯ウナルノデアリマスカラ、何モヲカシイコトハナイト思フノデアリマス

○武田委員

ヲカシクナイト仰シヤツテ、ヲカシイカラ私ハヲカシイト言フノデアリマス、一體物ヲ比較スルノニ、

如何様ナ基本數字ニ比較スベキカト云フ其根本ノ觀念ヲ明ニセズシテ、大體ミデコンナコトニナルダラウト云フ、ソナナ杜撰ナコトガアラウ筈ハナイ、詰リ單價ヲキメル、其單價ニ依ッテ一割五分ト御見込ムナラ一割五分、二割ト御見込ムナラ二割、ソレヲ御掛ケニナツテ、其出タ數字ガ率トシテ何分ニ當ルカト云フコトヲキメナケレバ到底分ルモノデハナイノデアリマス、若シ勝君ノヤウナコトヲ許サル、ト致シマスト云フト、アナタノ仰シヤル通りノ論理ヲ徹底セシムルト、茲ニ非常ナ間違ガ一ツ起キマス、アナタ方ガ吾々ニ御提出ニナツタ稅第二十一號ノ「本表ハ無届異動地整理ノ結果ヲ加算セザルモノトス」何故ニ斯ウ云フコトヲナサル、總テノ異動ヲ加算スルト云フアナタノヤウナ御論理デ、昭和六年度ニ於テ豫算ニ計上スベキ地租額ト云フモノ、此地租法ガ若シ成立タナカッタラバ、當然昭和六年度ノ豫算ニ於テ租稅收入トシテ計上サルベキ數額ヲソレカラ引去ルノガ宜シイト云フアナタノ御議論デアルナラバ、無届異動地ト云フモノヲ入レナケレバ正確デナイ、災害ニ因ル或ハ地目變換ト云フヤウナ、前年五箇年度ノ平均ト云フヤウナ不確實ナモノヲ入レテ置イテ、無届異動地ト云フモノハ、私ノ承知スル所ニ依レバ殆ド決定的ニ

ナツテ居ル筈デアリマス、是ハ六年度ノ分ハドノ位デアルカ、或ハ七年度、八年度位マデハ、少クトモ組入レルルベキ無届異動地整理ノ土地ノ反別ト云フモノハ、大體分ッテ居ル筈デアリマス、故ニ斯様ナル御議論デアルナバ、議論ヲ正確ニ致スト致シマスナラバ、全體ノ地租法ノ出來ナイ場合ニ、國民ガ地租ヲドレダケ負擔スベキカト云フ、其數額ヲ知ラント致シマスナラバ、明年度ニ於ケル無届異動地ノ數額ノミナラズ、今日ニ於テ既ニ御調べニナツテ、確定シテ居ル無届異動地ガアル筈デアリマス、即チ六年度、七年度、八年度ニ互ッテノ無届異動地ノ數額ト云フモノヲ、總テ今日ノ計算ニ入レテ、ソレカラ推シテ行カナケレバ理窟ガ合ハヌ筈デアリマス、若シ無届異動地ヲ、昭和五年一月一日ノ豫想地ニ御加ヘニナルト、今ノ御話カラ見ルト云フト、相當ノ狂ヒヲ生ジテ來ルト私ハ思フノデアリマス、狂ヒノ大小コソ違ヘ、結局アナタ方ノ御決定ニナリマシタ所ノ千八十八萬圓ト云フ數字ニ相違ヲ來シマス、私ノ見ル如ク百七十七萬圓減ズルカ、五十萬圓減ズルカ、八十萬圓減ズルカト云フコトハ、無届異動地ノ反別ト云フモノヲ御知セ下サラナケレバ分リマセヌケレドモ、兎モ角減ズルト云フコトハ確實デアリマス、故ニ私ハ失禮ナ言ヒ分

カモ知レマセヌケレドモ、此計算ニハカラクリガアルノデアアルマイカト云フコトヲ最初ニ申シタノデアリマス、唯私ノ考ト政府ノ考トハ、計算ノ基礎ノ意見ノ相違デアリマスレバ、是ハ別問題デアリマスガ、今勝君ノ御説明ノ如キ、政府ノ御意見通りノ計算ト致シマシテハ、ドウシテモ無届異動地ヲ此中ニ御入レニナラナケレバナラス、而モソレハ六年度ノミナラズ、七年度、八年度モ御入レニナラナケレバ、正確ナ數字ニナラヌト私ハ考ヘマス、斯様ニ致シマシタナラバ、非常ナ相違ヲ、今度ノ此減稅額ナルモノニ依ッテ生ズルト云フコトハ極テ明瞭デアリマス、ドウゾ其積リデ冷靜ニ御考ニナツテ、斯ウ云フコトハ全ク數字ノ問題デアリ、論理ノ問題デスカラ、論理ヲ正シク迪ッテ、御互ニ意見ヲ闘ハシテ見タイ、私ハ事ガ明瞭ニナレバソレデ宜シイノデアリマス、強テ議論ヲ致スノデアリマセヌ

○青木政府委員

只今ノ再度ノ御質問ハ、數字ノコトニ關シマスルカラ私カラ御答ヲ致シマス、只今ノ御話ハ第二十一號表ニ無届異動地整理ノ結果ヲ加算シテナイ、加算シテナイノハ甚ダ怪シカラヌ、ドウシタツテ加算シナケレバナラス筈デヤナイカト云フ御説明デゴザイマシタ、其通りデゴザイマス、

無届異動地整理ノ結果ヲ加算シナケレバナリマセヌ、而シテ千八十一萬圓ト云フ數字ハ、無届異動地整理ノ結果ヲ加算シテ初メテ出テ參リマス、此二十一號表ニ書イテアリマス此數字カラハ、千八十一萬圓ト云フ數字ハ出ナイノデアリマス、デ此二十一號表ニ出テ居リマス數字カラ、千八十一萬圓ト云フ數字ヲ出シマス爲ニハ、無届異動地ノ整理ヲ加算致シマス、其數字ヲ是カラ申上ゲマス、此二十一號表ヲ御覽下サイマスト云フト、改正地租額六千七百五十四萬五千圓ト、斯ウ云フモノガゴザイマス、是ハ百分ノ四・五トシタ場合デアリマス、百分ノ三・八ニシタ場合ニ幾ラ減ルカト云フコトガ即チ減稅額デアリマス、尤モ四・五ト二・八トヲ比較シテ、ソレガ減稅金額デアルト云フ、此前提ヲマダ御承服ニナツテ居リマセヌケレドモ、唯私共ノ考ヲ申シマス、四・五トシタ場合ト、二・八トシタ場合ノ差額ガ即チ減稅金額デアリマス、而シテソレニハドウシテモ無届異動地ノ關係ヲ加算シナケレバナリマセヌ、加算シテ始メテ千八十一萬圓ト云フ數字ガ出テ參ルノデアリマス、其道行ヲ申シマス、此六千七百五十四萬五千圓ト云フ數字ガアリマス、是ハ無届異動地ノ關係ガ加算サレテ居ラナイノデアリマス、ソレデ無届異動地ノ關係ガ——無届異動地ハ御承知ノ通り先般此處デ申上ゲマシタヤウニ、昭和四年度ト五年度ト兩年度ニ互ツテ整理致シマシテ、昭和六年度ニ於テモ亦豫算ヲ要求シテ整理ヲ致サウト思フテ居リマス、ソコデ私共ノ方デ、昭和四年度五年度ニ於テヤリマシタ無届異動地ノ整理ノ結果ト致シマシテ、若モ稅率ヲ百分ノ四・五ト致シマスナラバ、百六十四萬八千二百六十六圓殖エル計算デアリマス、ソレカラ尙昭和六年度ニ於キマシテモ、無届異動地ノ整理ヲ致シマシテ、ソレニ依ツテ吾々ガ歳入ヲ上ゲ得ルダラウト思フテ居リマス金額ハ三十一萬七千三百三十五圓デアリマス、ソレデアリマスカラ無届異動地ノ關係ニ於テ増加致シマス金額ハ百分ノ四・五ト致シマスレバ、兩者合セマシテ百九十六萬五千六百一圓ニナルノデアリマス、百九十六萬五千六百一圓ト云フモノト、此二十一號表ニ掲ゲテアリマス六千七百五十四萬五千三百三十三圓ヲ合計致シマシタ金額ガ、即チ稅率ヲ四・五トシタナラバ無届異動地ノ關係ヲ加算シテ出ルベキ稅額デアリマス、ソレガ合計致シマスト云フト六千九百五十一萬九百二十四圓ニナルノデアリマス、所ガ今度ハ稅率ヲ三・八ニ致スト云フト、無届異動地ノ關係ヲ考慮シナイ數字ハ五千七百三萬八千五百二圓トナル、無届異動地ハ、今申スヤウニ第一回第二回ト二度ニナツテ居リマスガ、是ハ四・五ニスルト三・八ニスルトトハ無届異動地ノ關係デ殖エル金額ガ違フ、三・八ノ方ガ少シ少クナリマス、ソレデ合計致シマスト云フト百六十六萬千八百九十五圓ト云フモノガ無届異動地ノ關係ニ於テ殖エルノデアリマス、ソレデアリマスカラ三・八ノ場合ニ於テハ、無届異動地ノ關係ヲ考慮致シマス、地租ノ總額ト云フモノハ五千八百七十萬三千九百九十七圓ト云フ數字ガ出ルノデアリマス、ソレデアリマスカラ四・五ノ時ニハ六千九百五十一萬圓取レル、三・八ノ場合ハ五千八百七十萬圓取レマス、ソコデ其差額ヲ見マスト云フト丁度千八十一萬圓ト云フ數字ニナルノデアリマシテ、此千八十一萬圓ト云フ數字ハ、無届異動地ノ關係ヲ考慮シテ出テ參ル數字デアリマス、ソレカラ序ナガラ私申上ゲテ見タイト思ヒマス、私ハ先程來御質問ニナリマス點ガ、ドウモ十分私ノ申上ゲルコトヲ御諒解下サル譯ニ行カナイヤウデアリマシテ、ソレハ武田サンノ御計算ト私共ノ計算ト何處ガ違フノダラウカト思フテ考ヘテ居リマシタガ、今昭和四年十月現在ニ於テヤルナラバト云フ御言葉ガゴザイマシタガ……

○武田委員 ソレハ違ヒマス、私ノ昭和四年十月デヤツテ見ルナラバ申上ゲタコトハ、私ハ此昭和五年一月一日ノ現在デ計算スレバ百七十七萬圓違フ、其ヤリ方ガ政府ノ御考ト違フト云フ特色ナ議論ガ、御互ニ解ケ合ハナイカラ、何カ確定ノ數字ヲ捉ヘズニシテ豫算ヲ致シマスト云フコトハ、非常ナ狂ヒヲ生ズル一例トシテ、假ニ昭和四年十月ニ、是ハ既ニ確定的ノモノデアリマスカラ、此場合ニヤツタトシタナラバ又非常ナ相違ガ出來ルト云フコトヲ只引例ニ申上ゲタノデアリマス、私ノ議論ノ根據ハ、飽マデ昭和五年一月一日ノ現在ノ數字ガ最近ニ於ケル確定的ノ數字デアルカラ、其確定的ノ數字ヲ基礎トスベキデアル、而モ其全體デナク、單價ヲ基礎トシテ率ヲ出スベキモノガ、即チ地價一反歩ノ日本中ノ平均ガ幾ラ、畑一反歩ノ日本中ノ平均ガ幾ラ、其平均ヲ取ツテ一割五分ヲ減ズルトスレバ、一體ドレダケノ率ニシタラ宜イカト云フコトハ、算盤ヲ取レバ分ル、ソレガ三・八ニナルカ三・九ニナルカト云フコトヲ出スベキモノデアツテ、ソレガ定ツテカラ明年度ノ豫算ニ計上スベキ稅額ハ、ソレカラ豫想ヲ加ヘテ——前五箇年ノ豫想ヲ加ヘテ、或ハ色々ナ異動地ヲ加ヘテヤルコトハ、是ハ私ハ異論ハナイケレドモ、率ノ基礎ヲ定メルノニ、確定的ノ數字ガアルノニ、ソ

レヲ御用ヒニナラヌト云フコトハ、觀念上間違デナイカト云フヤウニ私ハ考ヘテ居ルノデアリマス、ソレトモウ一ツハ貸賃價格ト云フモノニ四・五ヲ掛ケルト云フノハ、如何様ナ意味デアラウトモ、是ハ法律ヲ定マツテ居ル率デハナイ、或ハサウシタラトシ、ニナラウト云フ豫算デアラウガ、或ハ大藏省ノ腰ダメデアラウガ、其理由ノ如何ニ拘ラズ、貸賃價格ニ四・五ヲ掛ケタモノヲ基本トシテ、ソレカラ減ズルト云フヤリ方違ッテ居ル、兎ニ角現在ノ國民ノ負擔スベキ確定的ノ數字ニ依ッテ定マツタモノカラ減ズルト云フコト

デナケレバ、イカニ筋合デアラウト私ハ考ヘテ居ル、此二點ニ取ッテ、ドウモ私ハ説明ガ十分デナイヤウニ思フノデアリマス、結局ハ意見ノ相違カモ知レマセヌガ、私ノ分ルダケノ、ドウカ説明ヲ願ッテ置イテ、ソレカラ他ノ議論ニ移ル外ナイト思ヒマス、重ネテ説明ヲ御願スル次第デアリマス

○青木政府委員 モウ申上ゲマシテモ、結局ハ御了解ヲ得ラレナイカモ知レマセヌ、御意見ヲ伺ッテ居リマス、減税金額ト云フモノハ、將來ノ豫想デハイケナイ、過去ニ於テ、例ヘバ昭和四年十月ニ於テ貸賃價格ノ地租ヲ取ッ

タナラバ、其時ノ地價ト貸賃價格トノ間ニドレダケ違フカト云フコトヲ以テ

減税金額トスベキモノデアルト云フ御意見ノヤウニ伺ハレルノデアリマス、ガ、ソレハ一ツノ御意見ト思ヒマス、只私共ノ減税金額ト云フモノハ、先程參與官カラ詳細御説明ニナリマシタヤウニ、減税ヲシナカッタナラバ斯ウダ、サウシテ減税ヲシタナラバ斯ウ、其差額ガ即チ減税金額デアル、尙ホ御參考マデニ申上ゲテ置キタイト思ヒマス

トハ、倫敦海軍條約ノ結果生ジタル財源ヲ以テ減税ヲスルト云フノデ計畫ヲ樹テマシタ、其倫敦海軍條約ノ結果生ジタル財源ノ餘裕ハ、是ハ將來ノコトデアリマス、其將來生ズベキ財源ヲ以テ減税ヲスル、ソレニハドウ云フ計畫ヲ樹テタナラバ宜イカト云フコトデ考ヘ

タノデゴザイマスカラ、ドウモ將來ノ數字ヲ基礎トシテ、ツマリ六年度、七年、八年度等ノ數字ヲ基礎トシテ減税計

畫ヲ樹テザルヲ得ナカッタノデゴザイマスカラ、此點ハドウカ尙ホ御諒承ヲ願ッテ置キタイト思ヒマス、併シ大藏省ノ解釋トシテ、何處マデモ減税金額ト云フモノハ、從來モサウデスガ、減

ラ、私ノ方デハ、豫算ノ數字ニ合セ、概計表ノ數字ニ合セレバ、ドウシテモ今申上ゲマシタヤウニ、減税シナケレバ幾ラ、減税シタラ幾ラ、其差額ガ減税金額ト云フ主義ヲ取ル外仕方ガナイノデアリマス

○武田委員 成程青木サンノ仰シヤルヤウニ、概計表ニ合セルヤウニ、豫算ノ組立ニ合セルヤウニ致スニハ左様ニ致スヨリ仕方ガナイト仰シヤル、ソレハサウデアリマセウ、私ノヤウニスレバ、アナタ方ガ作ッタ十年概計表ハ根本ニ於テ破壊サレテシマフ、ソレダカラ事重大デアリマスカラ、私ハウルサ

イト御感ジニナルカモ知レマセヌガ、能ク承ラウトスルノデアリマス、デドウシテモ私ハ今ノ御計算ノ基礎ト云フモノガ違ッテ居ルト思ヒマス、併シ此際

是レ以上申上ゲテモ、結局意見ノ相違ニナリマスカラ、適當ノ機會ニ私ノ意見ヲ更ニ詳細ニ申上ゲルコト、シテ、唯此場合、モウ一ツ御伺ヒ致シマスコトハ、先程青木政府委員ヨリ、此二十

ウシテ千八十万圓ニナルト云フ表モ併セテ御作りヲ願ヒタイノデアリマス、其詳細ナコトヲ拜見シタ上デ、私ノ疑問ヲ更ニ解クヤウニ致シタイト思ヒマス、ソレカラモウ一ツ私ハ御願ヲシテ置キタイ、私ハドウシテモ此點ハ如何ニモ疑ハシクテ困ル、依テ別種ノ計算ヲ私ハシテ見タイト思ヒマスカラ、昭和四年十月ノ貸賃價格法ノ出來マシタ

時ノ貸賃價格二百圓未滿ノ貸賃價格ハ幾ラニナリマスカ、即チ免稅點以下ノ貸賃價格ハ幾ラニナツテ居ルカ、是モ無論御分リニナツテ居ル筈ダト思ヒマスカラ、ソレヲ御調ノ上御知ラセテ願ヒ

タイ、サウ致シマス私ハ先程申上ゲマシタ、昭和四年ノ十月ニ於ケル今ノヤウナキツリトシタ計算ガ出來ル、私ハ今腰ダメデ五百萬圓位違フトハ思ヒ

マスガ、其數字ヲ御調べヲ願ヒタイト申シマスノハ、印刷シタ日付ナンデス、ソレダカラ、其處ニ書イテアルノハ、大正十五年四月一日現在ニ於テ、土地賃賃價格調査法ノ法律ノ條文ニ從ッテ拵ヘマシタ賃賃價格ガ其處ニ出テ居リマス、サウスルト、只今ノ御話ハ、大正十五年四月一日現在ニ於テ、賃賃價格二百圓未滿ノモノハ幾ラアツタカト云フコトヲ調べ、斯ウ云フ御話デアリマスレバ、大正十五年四月一日現

在、其貸賃價格ヲ調ベタ時ニ、其時現在ニ於テ二百圓未滿ノモノガ幾ラアツタカ、地租條令十三條ノ二ニ當ルモノガ幾ラアツタカト云フコトニナルガ、是ハ大正十五年四月一日以後ニ色々ノ異動ガゴザイマスカラ、今日カラ遡テ大正十五年四月一日現在ニ於テ、貸賃價格二百圓未滿ガ幾ラアツタカト云フコトヲ調ベルコトハ一寸出來兼ネマス

○武田委員 今カラ遡テ御調ベニナルト云フコトハ成程御困難カモ知レマセヌガ、併シ御調ベニナツタ時ニ、既ニ分ツテ居リサウニ思ヒマスガ、如何デアリマスカ

○青木政府委員 貸賃價格調査ノ際ニハ、此貸賃價格ヲ以テ地租ノ課稅標準トスルト云フ根本方針ハ定テ居リマスケレドモ、自作農ノ免稅點ヲドウスルカト云フヤウナコトハ、一昨年ニナリマシテカラ初メテ吾々ガ研究ヲ初メマシタノデ、大正十五年四月一日現在ニ於テハ、自作農ノ免稅點ヲ二百圓ニスルト云フヤウナ考デ居リマセヌデシタカラ、其時ニハ調ベテ居リマセヌデス

○武田委員 私ハ實ハ外デ之ヲ見タノデアリマス、昭和四年一月一日現在ニ於テ、サウ云フノガ雜誌カ何カデ見テ私ハ書キ取ッテアツタノデスガ、ドウモ不確實デアツタカラ、ソレデ伺ッテ居ル

ノデアリマスガ、ソレハ先程申上ゲマシタヤウニ、此貸賃價格表ニ依ッテ計算シテ見マシタノハ二百圓未滿ノモノヲ入レズニ計算シマス、先程申シマスヤウニ千四百十二萬圓違ッテ來ル、正確ナモノハ此中カラ二百圓未滿ノモノヲ引去ラナケレバナラス、是ハ分ッテ居ラヌ譯ハナイト思ヒマスガ、之ガ分ッテ居リマセヌカ

○青木政府委員 其現在ニ付テ調ベタモノハ分ッテ居リマス、ソレハ既ニ配付致シマシタ表ノ中ニ入ッテ居ルト思ヒマス、尙ホ一寸武田サンノ御參考マデニ申上ゲマスガ、先程私ガ説明致シマシタヤウニ、貸賃價格トシテ取りマス場合ニハ、激増制限ヲ致シマス、三倍八割、或ハ四・五ノ時ハ四倍五割ノ制限デアリマス、其制限ニ依ッテ減リマス金額ガ、四・五ノ時ハ百九十五萬圓モゴザイマスカラ、ソレヲ計算ニ御入レニナリマス、違ヒマスカラソコヲ一ツ……

○武田委員 ソレハ控除シテ計算致シマセウ——ソレナラ是ハ私ハ總テノ地租ノ率ヲ割出ス根本ノ重大ナル資料デアルト考ヘマスカラ、是非之ヲ何レカニ結論フケタイト思ヒマスカラ、先程青木政府委員ガ、兩度ニ互ッテ御説明ニナツタ數字ノ表ヲ明日ニデモ御差出シテ願ヒマス

○青木政府委員 一寸御參考マデニ武田サンニ申上ゲマスガ、自作農ノ免稅額概算表ト云フノヲ十八號表デ差上ゲテアリマス、是ハ大正十五年四月一日現在デゴザイマセヌカラ、今申上ゲマシタ昭和四年十月トハ一致シマセヌケレドモ、現在ノモノハ此十八號表デ御覽下サレバ、貸賃價格ガ幾ラト云フコトガ出テ居リマスカラ、ソレダケ申上ゲテ置キマス

○武田委員 ソレハ承知シテ居リマス、ソレデ計算シテモ合ハナイト思ヒマス

○高橋委員 大藏大臣ノ御出席ニナル間一寸休憩シテハ如何デセウカ

○本田委員長 大藏大臣ガ來マスマデ、質問ガナケレバ此儘待ツコトニ致シマス——ソレデハ武田君、大藏大臣ガ御出席ニナリマシタカラ、御質問ガアリマスカ

○武田委員 高橋君ノ質問カラ願ヒマス、高橋君ノ都合ニ依テ……

○高橋委員 大藏大臣ハズット續ケテ御出デ下サルノデアリマス、豫算總會ニ御出デニナルノデスカ

○井上國務大臣 豫算總會ニハ一寸休憩シテ居リマスガ、私ニ直接關係ガアル時ニハ、私ヲ呼ビニ來ルサウデアリマスカラ、其時マデハ宜シイノデアリマス

○高橋委員 洵ニ心細イノデアリマスガ、切レ々々ニナツテ、何カ鼠ノ嚙リ掛

ノヤウニナツテ居リマシテ、何處ヲドウト云フヤウナ取纏メノ付カナイヤウニナツテ、甚ダ質問ニモ困難ダシ、御答辯ニモ差支ヘルト考ヘテ居リマスガ、吾ハ此減稅案ハ、減稅ニ努力ヲサレタコトニ付テ、十分政府ノ誠意ト云フモノハ認め難イト云フコトヲ前提トシテ、始終質問ヲ致シテ居ルノデアリマスガ、ソレニ付テ色々ナ材料ノ請求ヲ致シテ居リ、御提出ニナルト云フマダ出テ居リマセヌガ、ソレハ至急ニ出シテ戴クコトニ致シマシテ、其材料ニ付テ數字的ニ御伺フ致シテ見タイト、斯様ニ考ヘテ居リマス、此減稅ハ非常ニ見當違デハナイカト云フコトヲ吾々ハ考ヘテ居ルノデアリマス、負擔ノ輕減ト云フコトハ、同僚カラ總理代理ニ對シテ、額ノ大小ニ依ッテハ必シモ負擔ノ輕減ヲ完全ニスルモノデハナイ、途中デ消エテシマフデハナイカ、斯ウ云フ疑問ヲ以テ質問ヲ重ネタノデアリマスルガ、其結果ハ何等吾々ノ疑問ヲ解クニ至ラナカッタノデアリマス、此問題ハ、私ハ大藏大臣ニ依ッテ解決シタイト思ッテ居ッタノデアリマスガ、同僚ハ總理代理ニ問フ發シタノデアリマス、大藏大臣ハ此減稅ニ現ハレタ數字ハ平年度ニ於テモ——六年度ニ於テハ無論問題ニナラナイ、平年度ニ於テモ非常ニ僅カナモノデアアル、八億ニ近イ所ノ總

稅收入ノ中ニ、僅ニ二千五百萬圓、本年度ニ於テハ更ニ九百萬圓デア、サウ云フ僅カナ金額ヲ以テ國家ノ負擔ヲ輕減スルト云フ目的ニ副フカドウカ、吾々ハ大ナル疑問ヲ持ッテ居ルノデア、且ツ地租ニ對スル限リニ於テ、大藏大臣ハ斯ウ云フコトヲ吾々ニ申サレタノデアリマス、一千萬圓モ平年度ニ於テ地租ガ輕減ニナルト云フコトハ、農家ニ取ッテハ、非常ナ負擔輕減ニナルノデアルカラ、農家ノ疲弊困憊ガ緩和サレルト御答辯ニナッタノデアリマス、私ハ斯様ナル答辯ニ満足セザルノミナラズ、農民ハ大藏大臣ノ斯ル答辯ヲ聞イタナラバ、落膽スルノミナラズ、更ニ憤慨モシ兼ネマジキコトダト私ハ考ヘル、遠慮ナク申セバ人ヲ馬鹿ニシタ程ノ僅カナ數字ガ其方此方ニ盛ラレテ居ル、金額ガ少ナカッタナラバ、之ヲ一纏メニシテ、何カノ減稅ニ當テタナラバ、モウ少シ效果ガアッタラウ、負擔輕減ダ、減稅ダト云フノデ國民ハ大ナル期待ヲ持ッテ居ッタノデア、其期待ヲ完全ニ裏切ラレテ、國民ハ落膽シテ居ル、私共ハ此減稅案ヲ見テ、何ガ故ニ此國民ノ期待、政府ノ當初ノ聲明ニ副ハナイ減稅案ヲ出サレタカニ付テ考ヘテ見ル、吾々ハ民政黨ノ組閣當時聲明サレタ十大政綱ニ付テ吟味シテ見タ、サウスルト何處カニボンヤリ負擔

輕減ト云フコトガ見エテ居ル、ケレドモ明ニ斯ウ云フコトヲスルト云フ點ハ認メラレナイ、軍政改革、軍費ノ整理ナドハ認メラレルガ、斯ウ云フ計畫ガアルト云フコトハ認メラレナイ、民政黨ノ諸君モ之ニ氣ガ付カレタト見エテ、昨年ノ總選舉ニ臨ミ國民ニ懇ヘル旗印トシテ、八大政綱ト云フモノヲ新シク掲ゲラレテ居ル、ソレヲ見マスルト此減稅ノ内容モ多少分ッテ來ルノデアリマス、即チ一月二十九日ニ御決定ニナツテ、ソレノ發表サレタ所ノ民政黨ノ八大政綱ト云フ項目ト、國民負擔ノ輕減ト云フモノヲ、天下ニ發表サレテ居ルガ、其中ノ第四項ニ、國民負擔ノ輕減ト生活ノ安定ト云フ見出しデ、「イロハ」ニ分ケ、「イ」ニ國稅地方稅ノ整理輕減、「ロ」ニ生活必需品ニ對スル消費稅ノ整理輕減、「ハ」ニ義務教育費國庫負擔金ノ増額、斯様ナコトヲ謳ッテ居ルノデアリマス、義務教育費國庫負擔金ノ増額ノ一千萬圓ト云フノハ、曩キノ特別議會ニ於テ先ヅ解決ヲサレタ、併ナガラ其時分ノ聲明ニ依ルト、之ヲ地方費ノ輕減ニ充テルノデアルト云フ御聲明ハ、果シテ其通り行ッタカドウカ、是ハ殘サレタ問題ニナツテ居リマスガ、兎モ角茲ニ謳ッテアルコトハ御實行ニナツタ、後ニ殘ル「イ」ト「ロ」ノ國稅地方稅ノ整理輕減、生活必需品ニ

對スル消費稅ノ整理輕減、是ガ殘サレタル問題デアルカラ、之ヲ何トカ解決シナケレバナラヌ、僅カバカリノ財源デハ有效ナルコトハ出來ヌト云フ御議論モアッタラウト思フノデアリマス、ソレダカラ海軍補充計畫ト、減稅ニ充テル資源トノ割振ニ付テハ隨分海軍當局ト御爭ヒニナツタヤウニ吾々ハ伺ッテ居ルノデアリマス、ドウシテモ五億八百萬圓ノ財源ヲ成ルベク多ク此方ニ充テヨウ、海軍側ノ方デ言ヘバ、倫敦條約ノ與ヘラレタル兵力量ニ於テハ、國防ニ缺陷ヲ生ズル、之ヲ補充スル計畫ヲ樹立シナケレバナラヌト云フノデ、色々ト折衝サレタ結果、二割四分ガ輕減ノ方ニ廻サレテ、大部分ハ海軍ノ補充計畫ノ方ニ使ハレルト云フヤウニ今日相成ッテ居ルノデアリマス、ソレガ正確デアルカ不正確デアルカト云フコトモ今日ノ大問題ニナツテ居ル、今豫算總會ガ休憩ニナツテ居ルト云フ問題モ、此海軍補充計畫ガ、六年度豫算ヲ通ジテ政府ガ聲明サレタ數字ガ的確デアルカドウカト云フコトニ付テ、幾多ノ重大ナル疑義ガ茲ニ挾マル、サウシテ當初ノ政府ノ聲明ト、今日ノ海軍大臣其他ノ御聲明トハ多少齟齬ヲ來シテ居ル、是等ノムズカシイ問題ニ付テハ、何レ豫算總會ニ於ケル經過ヲ十分ニ拜聽シタ上デ、他ノ機會ニ於テ十分大藏大臣

ノ御意見ヲ拜聽致シタイト考ヘテ居リマス、又場合ニ依ッテハ海軍大臣、首相代理ノ御意見モ拜聽シナケレバナラヌト考ヘテ居ル、是ハ根本問題デアルカラ吾々ハ看過スル譯ニハ行カヌト思ヒマスガ、私ハ原案ニ出テ居ル數字ヲ假ニ鵜呑ミニシテ、ソレヲ根據トシテ論ヲ立テ、居ルノデアリマスガ、洵ニ僅カノ財源ガ國民負擔ノ方ニ廻サレタト云フコトニ付テ、不滿ヲ持ッテ居ルバカリデナク、私ハ不滿デアルトカ、不平デアルトカ云フヤウナ、左様ナ道徳的ノコトデハナクシテ、數字ノ實際的ニ、是デハ負擔輕減ノ實ガ上ラナイ、幾分ナリトモ負擔ガ輕減サレ、結構チヤナイカ、貰ハヌデモ宜イデヤナイカ、夏モオ小袖ト云フ譬ガアルヂヤナイカト言ハレテ、吾々ニ強ヒラレルナラバ、是ハ又別個ノ問題デアリマスガ、大藏大臣トシテ是ダケノ僅カナル減稅額ヲ以テ、果シテ國民ノ負擔ガ輕減サレルト思フカ、金解禁竝ニ政府ノ唱道サレル世界的不景氣ニ依ッテ、一般物價ノ大下落ヲ來シテ居リ、殊ニ借金ヲ持ッタ者ハ、元利償却ニ對シテ非常ナル苦痛ヲ感ジテ居ル、斯ウ云フ場合ニ、是ダケノ僅カナル減稅ヲ以テ、此經濟國難ニ直面シテ居ル所ノ國民ノ經濟ヲ緩和シ得ルカドウカ、私ハ端的ニ申セバ、何等是等ノ目的ニ對スル效

果ト云フモノハ認メ得ラレナイ、斯様ニ斷定ヲ致シタク思フノデアリマス、之ニ對シテ首相代理ハ、ハッキリシタ答辯ヲ吾々ニ與ヘラレナカッタノデアリマス、ガ、大藏大臣ハ之ニ對シテ如何ナル見解ヲ御持チニナルカト云フコトヲ、此場合先ヅ伺フテ置キタイト思フノデアリマス

○井上國務大臣

只今高橋君ノ御質問デアリマスガ、今日ノ如キ經濟界ニ處シマシテハ、國民負擔ノ輕減ト申シマスコトハ、最モ適當ナ策ト考ヘラレマス、又納稅者ノ側カラ申シマシタラ、其額如何ハ多々益辨ズルノデアッテ、多イダケ宜イ、斯ウ云フコトニナラウト思ヒマス、併ナガラ過日モ申上ゲマシタヤウニ、日本ノ現在ノ財政狀態カラ申シマス、急激ニ歳入ガ減ル、斯ウ云フヤウナ有様デアリマシテ、一般會計ノ節約ニ依ッテ減稅スルト云フコトハ出來ナカッタ、茲ニ提供サレテ居ル減稅案ハ何處カラ來タカト云フト、只今御説明ノヤウニ、五億八百萬圓ト云フ、六箇年間ヲ通ジテ海軍ノ補充計畫ノ爲ニ留保シテアリマス財源ガ、倫敦軍縮會議ノ結果ニ依ッテ是ガ總額ヲ使用スル必要ガナクナッタ、ソレニ依ッテ其剩餘ノ幾部分ヲ減稅ニ充テヤウト、斯ウ云フコトカラ來タノデアリマス、只今御話ノ趣ニ依ッテ十分御承知ノ如ク、海軍ノ關

係ニ於テハ、國防ノ缺陷ナカラシムル、斯ウ云フ意味ニ於キマシテ、金ヲ其方ニ振向ケ、其餘剩財源ガ一億三千四百萬圓、六箇年ヲ通ジテアッタノデアリマス、ソレヲ茲ニ減稅ニ充テメルコトニシタノデアリマス、サウ致シマシテ留保財源ノ昭和六年度ノ分ハ、從來ノ海軍計畫ガ昭和六年度ニ於キマシテ終局スルノデアッテ、此留保財源ニハ僅カ總額千八百萬圓ホカナカッタノデアリマス、ソレヲ九百萬圓程減稅ニ向ケタノデアリマスカラ、只今御示シノ如ク、僅ニ九百萬圓、九百萬圓デハ何ノ足シニモナラヌヂヤナイカト斯ウ云フ御話デアリマスガ、併ナガラ先日モ私ハ申上ゲマシタ、本年ニ於テ二千五百萬圓、昭和六年度ニ於テ九百萬圓、成程數字カラ申シマシタナラバ頗ル少イ數字デアルト斯ウ云フ御話モアリマセウガ、今日ノヤウナ經濟界ニ處スベク吾々ハ當初カラ努力シテ參リマシタ、又自分ノ唱ヘタ海軍軍縮會議ノ結果、出來ルダケ多ク減稅ニ持ッテ行カウ、斯ウ云フコトヲ主張シテ、茲ニ是ダケノ財源ヲ減稅ニ充當シテ來マシタコトハ、吾々ハ一方ニハ國民負擔ノ輕減ヲスルト云フコトニ、適當ニ按配シタ積リデアリマスカラ、少イト言ヘバ、納稅者ノ方カラ言ヘバ多々益辨ズルノデアリマス

ガ、一國ノ財政ヲ維持シテ行キマスノニハ、左様ニ極端ニ稅ヲ減スコトモ、又節約ヲスルコトモ可能性ニ乏シイノデアリマスカラ、吾々ハ此程度ニ於テ今日ハ満足ヲセザルヲ得スト斯ウ考ヘテ居リマス

○高橋委員

此程度ニ於テ吾々ハ満足シナケレバナラスト考ヘテ居ルト云フ結論デアリマスガ、政府ノ御都合ハソレデ結構カモ知レマセヌ、政府ノ御都合ガ好イカラト言ッテ、直チニ國民ノ都合モ好クナルトハ考ヘラレナイノデアリマス、大藏大臣ノ今ノ御満足ト云フモノハ、國民ハ決シテ之ヲ承服スルモノデナイト云フコトハ、先程來私共ノ申上ゲタ通りデアリマス、ソレデ私ハ御問ヒ申シテ居ルノデアリマスガ、此僅カノ金額デ果シテ國民ノ負擔ガ輕減ニナル、此異常ナル經濟梗塞ノ今日ニ於テ、民衆ノ非常ナ死活問題、死線ヲ彷徨シテ居ルト云フ今日ノ窮迫シタ經濟狀態ヲ、之ヲ匡救スルニ足ル所ノ負擔輕減ノ方法デアアルカドウカト云フコトヲ私ハ伺ッテ居ルノデアリマス、此程度ヨリ仕方ガナイカラ、此程度デ満足スルト云フヤウナオ話デハ、私ノ質問シテ居ル所ノ要點ニハ觸レテ居リマセヌ、ソレデコンナ僅カナ負擔ヲ以テシテハ

午後三時五十一分休憩

○本田委員長

午後八時九分開議

○高橋委員

先程ニ引續イテ質問ヲ致シタイト思ヒマスガ、大藏大臣ハ非常ニ御多忙デアッテ、此委員會ニ御臨ミニナルコトガ出來ナイノデ、吾々ノ質問ヲ繼續スルコトガ困難ニナッテ居ルノデアリマスガ、本日ノ如キハ午前十時半カラ開會ニナリ、午後ノ零時二十五分マデ續ケ、更ニ一時半カラ開會ヲ致シテ、其間ニ若干休憩ヲ致シタリ致シテ、私ノ演說ヲ中止シタノハ四時頃デアッタト思ヒマス、ソレカラ只今マデ休憩ニナッテ、是カラ議事ヲ開クト云フコトハ、吾々ハ國政ニ對シテ熱心ニ審議ヲ致シタイト云フコトヲ考ヘテ居ルマスルカラ勞苦ハ厭ヒマセヌガ、人間ノ體力ニモ限リガアルノデアリマス、既二十時半ト申シマスレバ、十時間ニ垂ントスルダケ、吾々ハ委員會ニ於テ頭ヲ費シテ居ルノデアリマス、ソレデアリマスカラ申上ゲル事モ前後ニナッタリ、隨分色々混亂スルヤウナコ

トモアルダラウト思ヒマスカラ、政府當局ニ於カレマシテモ——殊ニ大藏大臣ニ於カレマシテハ、ドウカ吾々ノ此事情ヲ御酌取り下サツテ、御答辯モ率直明快ニ御願ヲ致シタイ、斯ウ云フコトヲ豫メ御願致シテ置キマス、豫算總會モ終リ、明日ハ豫算モ本會議ニ移ルコトデアリマスカラ、随分御多忙デアラウト思ヒマスシ、貴族院ニ廻ルト随分御多忙デアラウト思ヒマス、委員長ニ於カレマシテモ此委員會ヲ吾々ハ夜中開クト云フコトニ付テ何モ厭フ譯デアリマセヌ、ソレデアリマスカラ日ノ中ハ休ンデ午後ノ七時カラ開クト云フヤウナ御達シデアレバ、其積リデ吾々ハ休養モ致シマスシ、準備モ致シマシテ、夜分デモ差支ナイヤウニ吾々ハ準備シテ掛ル、併シ今日ノヤウニダラニナツテ、夜中八時過ギカラ始メナケレバナラヌト云フコトニナルト、種々ナル支障モアリマス、デアリマスカラ左様ナ事ハ十分御考ヘ置キ下サルコト、ハ思ヒマスケレドモ、是カラハ、尙更大臣ニ於カレテモ御用ガ多イコトダラウト思フ、ソレデ吾々ハ斯ノ如キ重大ナル法案ニ付キマシテハ、事務的ノ事バカリデナク、主ニ政策的ノ事ニ付テ種々御意見ヲ拜聽シナケレバ、斯ル問題ヲ議了スルコトハ頗ル困難デアルト考ヘルノデアリマス、ソレデアリマス、

スコトガ多イノデアリマス、左様デアリマスカラ、今日ノヤウナ事ノナイヤウニ委員長ニ於カレテモ豫メ十分御留意ヲ願ヒタイト云フコトヲ此機會ニ於テ御願致シテ置ク次第デアリマス、ソレカラ尙ホ吾々ハ本委員會ニ於ケル審議ヲ進メル上ニ付テ、參考資料ヲ種々提供ヲ願ッテ居ルノデアリマス、ソレニ付テハ大分マダ戴カナイモノガ數アルノデアリマスカラ、是等ハ速ニ御提出ニ相成ルコトヲ私共ハ希望ヲ致スノデアリマス、殊ニ私ハ過グル日ニ、此歳入ニ對シテ減稅歩合ハドノ位ニ相成ルカト云フコトノ計算モ御願ヲ致シテ居ッタノデアリマスガ……只今青木局長カラ六年度豫算ニ於ケル租稅收入ノ減稅額、減稅歩合、前年度實行豫算ニ對スル減稅額、減稅歩合ト云フ表ヲ私ハ頂戴致シマシタ、御勞ヲ多トスル次第デアリマス……

○**本田委員長** 高橋君ノ御發言中デアリマスガ、少シ都合ガアリマスカラ本日ハ此程度デ散會致シマス、明日ハ午前十時カラ開會致シマス
午後八時十六分散會